

倉敷市立自然史博物館報

30

(令和2年度)



タイシクギセル
オオセッカ
スイゲンゼニタナゴ
ベッコウトンボ
ニホンリス
ミゾヌマエビ
キバネツノトンボ
ゲンゴロウ
チュウゴクアサギショウウオ
ニシキキンカメムシ
ムラサキトビケラ

第29回特別展 岡山県の レッドデータ生物 2020

2021/1/16(土)~4/4(日)
会場：特別展示室

倉敷市立自然史博物館
〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 / TEL 086-425-6037
観覧料：一般150円 / 大学生50円
高校生以下・65才以上無料
休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)



ウスイロヒョウモンモドキ
ミズアオイ
マルバノキ
サクラソウ
エヒメアヤメ
チノクワグジュソウ
ナギヒロハテンナンショウ

倉敷市立自然史博物館

令和3年7月1日発行

目次

I. 資料収集保管事業

- 1 寄贈標本 1
- 2 館員による採集 2
- 3 購入 3
- 4 寄託 3
- 5 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳 . . . 3
- 6 二次資料 3
- 7 登録済み資料点数 4
- 8 標本整理ボランティアの活動 4
- 9 博物館のお宝探検 5
- 10 館外者による収蔵資料の利用 5
- 11 収蔵資料を活用した業績 5
- 12 収蔵設備の充実 6
- 13 収蔵庫の燻蒸 6

II. 調査研究事業

- 1 機関研究 6
- 2 分野別研究テーマ 6
- 3 研究業績などの公表 6
- 4 査読 9
- 5 標本レスキュー 9

III. 展示事業

- 1 常設展 10
- 2 特別展 10
- 3 特別陳列 11
- 4 ミニ水族館の展示 11
- 5 常設展示の更改 11
- 6 恐竜のぬり絵 11
- 7 自然情報掲示板の設置 12
- 8 まちかど博物館 12
- 9 ボランティアの活動 12
- 10 他館展示協力 12

IV. 教育普及事業

- 1 自然観察会 12
- 2 博物館講座 13
- 3 特別展関連講座 13
- 4 自然の標本なんでも相談会 13
- 5 動物研究会 13

- 6 地学教室 13
- 7 植物教室 13
- 8 むしむし探検隊 13
- 9 自然素材を使った手作り教室 13
- 10 折り紙教室 13
- 11 スライド映写会 13
- 12 昆虫標本作り体験教室 13
- 13 第20回 11月3日は自然史博物館まつり . . . 13
- 14 自然史博物館秋冬スペシャル 13
- 15 ないと・みゅーじあむ 14
- 16 出版物 14
- 17 レファレンス 14
- 18 ガイダンス 14
- 19 博物館実習生等の受け入れ 14
- 20 講師派遣 14
- 21 マスコミ報道 15
- 22 学校用標本の貸出 17
- 23 倉敷市立自然史博物館友の会の活動 17

V. 庶務

- 1 沿革 19
- 2 各室現有面積 19
- 3 組織 19
- 4 委員、役員委嘱 20
- 5 会議等派遣 21
- 6 広報活動 21
- 7 職員の研修参加 22
- 8 視察来館 22
- 9 無料開放 22
- 10 予算・決算 22
- 11 表彰等 22
- 12 年間利用者数 23

倉敷市立自然史博物館中期計画の点検

倉敷市立自然史博物館の運営方針

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

倉敷市立自然史博物館条例

倉敷市立自然史博物館条例施行規則

利用案内

I. 資料収集保管事業

1 寄贈標本 (敬称略)		10月7日	国内産植物標本	201点	
(1) 地学分野 (0件計0点)					兵庫県立人と自然の博物館
(2) 植物分野 (70件計約2,006点)		10月7日	岡山県産植物標本	16点	小橋理絵子
	4月5日 岡山県産植物標本	2点	稲神邦代		
	4月9日 岡山県産植物標本	2点	田淵正和		
	4月15日 岡山県産植物標本	22点	裾分由美子		
	4月16日 国内産植物標本	23点	片山 久		
	4月24日 岡山県産植物標本	2点	森下裕子		
	4月24日 岡山県産植物標本	9点	小橋理絵子		
	5月2日 国内産植物標本	53点	片山 久		
	5月6日 岡山県産植物標本	2点	稲神邦代		
	5月15日 岡山県産植物標本	3点	稲神邦代		
	5月21日 オランダフウロ	1点	浅井幹夫		
	5月22日 ニラバラン	1点	森下裕子		
	5月26日 国内産植物標本	14点	溝手啓子		
	5月29日 岡山県産植物標本	23点	小橋理絵子		
	5月30日 国内産植物標本	6点	岡本泰典		
	6月5日 国内産植物標本	4点	阪本美智代		
	6月5日 倉敷市産植物標本	1点	小橋理絵子		
	6月10日 岡山県産植物標本	23点	裾分由美子		
	6月18日 岡山県産植物標本	6点	小橋理絵子		
	6月26日 国内産植物標本	2点	稲神邦代		
	6月27日 岡山県産植物標本	28点	木下延子		
	7月7日 国内産植物標本	27点	片山 久		
	7月9日 岡山県産植物標本	56点	溝手啓子		
	7月11日 ホルトソウ	1点	木下延子		
	7月16日 岡山県産植物標本	15点	田淵正和		
	7月16日 倉敷市産水草標本	1点	裾分由美子		
	8月6日 岡山県産植物標本	22点	裾分由美子		
	8月6日 岡山県産植物標本	14点	木下延子		
	8月10日 岡山県産植物標本	5点	西井裕一		
	8月10日 岡山県産植物標本	10点	横木杏香		
	8月12日 岡山県産植物標本	18点	岡本泰典		
	8月16日 国内産植物標本	14点	小橋理絵子		
	8月16日 岡山県産植物標本	43点	片岡博行		
	9月2日 国内産植物標本	23点	片山 久		
	9月4日 国内産植物標本	29点	松本哲也		
	9月4日 国内産植物標本	50点	田淵正和		
	9月5日 岡山県産植物標本	15点	小橋理絵子		
	9月10日 国内産植物標本	3点	稲神邦代		
	9月10日 国内産植物標本	24点	溝手啓子		
	9月11日 タコノアシ	2点	山田 勝		
	9月18日 岡山県産植物標本	3点	溝手啓子		
	9月18日 国内産植物標本	1点	日朝直樹		
	9月18日 岡山県産植物標本	20点	小橋理絵子		
	9月21日 国内産植物標本	254点	山根宏子		
	10月2日 国内産植物標本	34点	狩山俊悟		
	10月2日 岡山県産植物標本	99点	狩山俊悟		
(3) 昆虫分野 (80件計約5,456点)		10月7日	国内産植物標本	201点	
	4月7日 台湾産チョウ類	44点			崎山悦子
	4月17日 岡山県産昆虫類	12点			小橋理絵子
	5月2日 岡山県産昆虫類	1点			石井宏典
	5月3日 岡山県産昆虫類	1点			小田敦子
	5月3日 岡山県産昆虫類	1点			片山 久
	5月4日 日本産昆虫類	93点			佐々木良一
	5月17日 岡山県産昆虫類	1点			小橋理絵子
	5月22日 岡山県産昆虫類	10点			黒田健二
	5月22日 岡山県産昆虫類	3点			山地 治
	5月26日 岡山県産昆虫類	1点			児玉純千
	5月30日 岡山県産昆虫類	2点			角谷孝行
	6月4日 岡山県産昆虫類	32点			末長晴輝
	6月14日 岡山県産昆虫類	2点			小橋理絵子
	6月18日 世界の昆虫類	約612点			岡本 忠
	6月27日 岡山県産昆虫類	2点			角谷孝行
	7月2日 岡山県産昆虫類	10点			平松紀子
	7月3日 岡山県産昆虫類	1点			稲神邦代
	7月7日 岡山県産昆虫類	9点			千田志温
	7月14日 岡山県産昆虫類	1点			小幡真子
	7月14日 岡山県産昆虫類	1点			小幡昂輝

8月26日	美作市久賀	25点
9月6日	美作市久賀	10点
9月17日	倉敷市中央	1点
10月15日	茨城県つくば市天久保	3点
11月15日	笠岡市白石島	29点

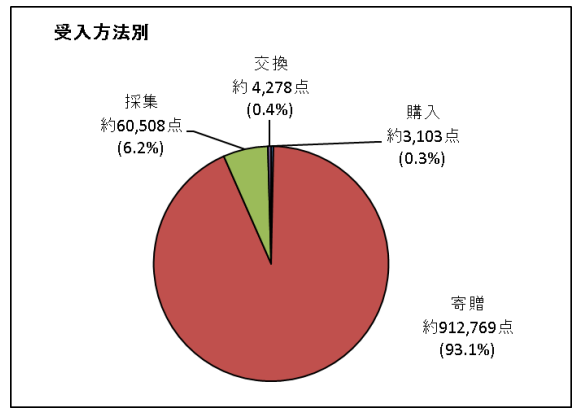
3 購入
なし

4 寄託

3月27日 畠田和一貝類コレクション (継続)
約24,000点 鏡野町町長 山崎親男

5 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳

年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	約 2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	2,334	972	7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	1,062	16	13,516	約 315,249
2001	27	約 12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
2018	約 1,054	約 9,002	約 45,659	約 2,187	約 57,902	約 914,163
2019	約 102	約 10,206	約 48,503	約 56	約 58,867	約 973,030
2020	0	約 2,009	約 5,578	41	約 7,628	約 980,658
合計	約 9,520	約 306,191	約 587,599	約 77,348	約 980,658	

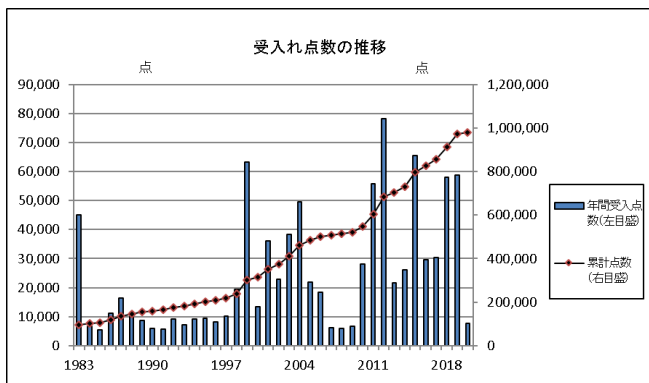


6 二次資料

(1) 寄贈者、交換先(敬称略、入力完了分のみ)

[個人] 奥島雄一, 間野幹男, 宮誠而, 江田伸司, 黒沢高秀, 黒田泰子, 三木はるか, 山本峯子, 市田忠夫, 寺田徹, 狩山俊悟, 松本堅一, 裾分由美子, 清水健一, 大貝秀雄, 中村剛之, 武智泰史, 末長晴輝.

[機関・団体] ひがし大雪自然館, 旭川市博物館・旭川市科学館, 浦幌町立博物館, 釧路市立博物館, 三笠市立博物館, 小樽市総合博物館, 帯広百年記念館, 苫小牧市美術博物館, 美幌博物館, 北海道博物館, 北見市教育委員会, 利尻町立博物館, 青森県立郷土館, 岩手県立博物館, 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団, 秋田県立博物館, 秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館, 米沢市上杉博物館, 只見町ブナセンター, ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 森林総合研究所, 栃木県立博物館, 那須塩原氏那須野が原博物館, 那須平成の森フィールドセンター, 下仁田町自然史館, 群馬県立ぐんま昆虫の森, 群馬県立自然史博物館, 埼玉県立自然の博物館, 埼玉県立川の博物館, 川口市立科学館, 山階鳥類研究所, 市立市川自然博物館, 千葉県立中央博物館, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム, JT生命誌研究館, The Ichthyological Society of Japan, たまろくミュージアム多文化共生推進実行委員会, むし社, ナツメ社, 環境省自然環境局自然環境計画課, 国立科学博物館, 国立科学博物館附属自然教育園, 国立極地研究所, 世界自然保護基金日本委員会, 全国科学博物館協議会, 全国科学博物館振興財団, 地域教材社, 東レ科学振興会, 東京大学総合研究博物館, 東京農業大学学術情報課程, 日本チヨウ類保全協会, 日本魚類学会, 日本鯨類研究所, 日本昆虫協会, 日本博物館協会, 日本文化財保護協会, 府中市郷土の森博物館, 目黒寄生虫館, 横須賀市自然・人文博物館, 環境再生保全機構, 観音崎自然博物館, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 川崎市青少年科学館, 日本大学生物資源科学部博物館, 平塚市博物館, 環境省自然環境局生物多様性センター, 茅野市八ヶ岳総合博物館, 大町山岳博物館, 長野市立博物館, 飯田市美術博物館, 野尻湖ナウマンゾウ博物館, 長岡市立科学博物館, 富山県中央植物園, 富山市科学博物館, のと海洋ふれあいセンター, 石川県ふれあい昆虫館, 石川県白山自然保護セ



ンター、福井県自然保護センター、福井県立恐竜博物館、福井市自然史博物館、岐阜県博物館、自然共生研究センター、瑞浪市化石博物館、NPO静岡県自然史博物館ネットワーク、ふじのくに地球環境史ミュージアム、沼津市歴史民俗資料館、静岡県自然保護協会、熱川バナナ・ワニ園、新城市鳳来寺山自然科学博物館、豊橋市自然史博物館、豊田市矢作川研究所、名古屋市環境局なごや生物多様性センター、いなべ市、三重県総合博物館、鳥羽水族館、藤原岳自然科学館、滋賀県立琵琶湖博物館、関西菌類談話会、日本地学研究会、きしわだ自然資料館、貝塚市立自然遊学館、関西自然保護機構、大阪府営箕面公園昆虫館、伊丹市昆虫館、神戸女子大学、姫路科学館、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫陸水生物研究会、近畿植物同好会、和歌山県立自然博物館、和歌山市立博物館、公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団、鳥取県立博物館、鳥取昆虫同好会、氷ノ山自然ふれあい館響の森、(財)三瓶フィールドミュージアム財団、ホシザキグリーン財団、山陰むしの会、島根県立宍道湖自然館、阿智神社社務所、医療法人創和会、岡山の自然を守る会、岡山コケの会、岡山県環境文化部自然環境課、岡山県環境保健センター、岡山県環境保全事業団、岡山県郷土文化財団、岡山県古代吉備文化財センター、岡山県自然保護センター、岡山県農林水産センター、岡山県博物館協議会、岡山県立博物館、岡山県立美術館、岡山昆虫談話会、岡山市半田山植物園、岡山市立オリエン特美術館、岡山商科大学学芸員課程、岡山大学文学部、岡山淡水魚研究会、岡山理科大学フロンティア理工学研究所、岡山理科大学自然植物園、高梁川流域連盟、倉敷昆虫同好会、倉敷市市史編さん室、倉敷市立自然史博物館友の会、倉敷野鳥の会、津山市教育委員会文化課、日本野鳥の会岡山県支部、林原自然科学博物館、広島市植物公園、広島大学総合博物館、庄原市立比和自然科学博物館、中国電力(株)エネルギー総合研究所、山口県立山口博物館、秋吉台科学博物館、萩博物館、美祿市歴史民俗資料館、豊田ホテルの里ミュージアム、徳島県立博物館、香川県立ミュージアム、香川大学教育学部生物学教室、瀬戸内全誌準備委員会、愛媛県総合科学博物館、国立文化財機能文化防災ネットワーク推進室、日本昆虫分類学会、面河山岳博物館、高知県越知町立横倉自然の森博物館、高知県立牧野植物園、森林総合研究所四国支所、九州大学総合研究博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、佐賀自然史研究会、熊本市立熊本博物館、天草市立御所浦白垂紀資料館、宮崎県総合博物館、九州保健福祉大学、鹿児島県立博物館、鹿児島大学総合研究博物館、農林水産省那覇植物防疫事務所、Deutsches Entomologisches Institut, Thailand Natural History Museum.

- (2) 寄贈(入力完了分のみ)
単行書：229冊，雑誌：1,819冊
- (3) 交換(入力完了分のみ)
単行書：42冊，雑誌：423冊

- (4) 購入
[備品] 単行書：3冊
[消耗品] 単行書：18冊，雑誌：63冊

7 登録済み資料点数(令和3年3月31日現在)

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| (1) 地学 | 計10,414点 | (内2年度 705点) |
| 鉱物 | 2,453点 | (内2年度 5点) |
| 岩石 | 1,571点 | (内2年度 0点) |
| 化石 | 6,390点 | (内2年度 700点) |
| (2) 植物 | 計244,235点 | (内2年度3,252点) |
| 維管束植物 | 244,235点 | (内2年度3,252点) |
| (3) 昆虫 | 計228,302点 | (内2年度7,615点) |
| 日本産昆虫類 | 186,518点 | (内2年度7,284点) |
| 外国産昆虫類 | 41,784点 | (内2年度 331点) |
| (4) 動物 | 計 27,704点 | (内2年度 197点) |
| 無脊椎動物 | 11,785点 | (内2年度 33点) |
| 哺乳類 | 127点 | (内2年度 43点) |
| 鳥類 | 186点 | (内2年度 15点) |
| 両生類・爬虫類 | 397点 | (内2年度 26点) |
| 魚類 | 15,139点 | (内2年度 80点) |
| その他 | 70点 | (内2年度 0点) |
| (5) 二次資料 | | |
| 図書 | 13,152冊 | (内2年度 277点) |
| 逐次刊行物 | 41,292冊 | (内2年度2,440点) |

8 標本整理ボランティアの活動

- (1) 植物分野(敬称略)
標本マウント：入江和喜，松田恵子，高林民雄，伏見滋子，大江宏，蒲生直未，大橋莉奈，脇本さくら。延べ128人。
標本情報等入力：川崎嘉子。延べ7人。
タンポポ調査データ整理：入江和喜，森下裕子，伏見滋子，小橋理絵子，川崎嘉子。延べ43人。
- (2) 昆虫分野(敬称略)
安達由莉，岡野貴司，齊藤陽一，佐々木良一，宮原康則，山地治。延べ109人。
- (3) 動物分野(敬称略)
小橋理絵子，山崎法子。延べ31人。
- (4) 脊椎動物グループ
事業の概要：駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により，ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み，スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示，普及活動で活用し，博物館活動の輪を一般市民に広げる。延べ95人。

9 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し、博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた(予約制)。植物10回17人、昆虫16回39人。

10 館外者による収蔵資料の利用 (ボランティア活動, お宝探検除く, 来館+貸出)

地学7件、植物20件、昆虫88件、動物1件、二次資料10件。

11 収蔵資料を活用した業績 (使用後, 当館へ寄贈されたものも含む)

(1) 植物分野 (4件)

藪内喜人. 岡山県中西部の水草の分布Ⅱ, ジュンサイ科 Cabombaceae とスイレン科 Nymphaeaceae. しぜんしくらしき, (114): 7-11. (9月1日)

小橋理絵子. 倉敷市でニチナンオオバコ・ヒゲナガスズメノテッポウを確認. しぜんしくらしき, (114): 19. (9月1日)

小橋理絵子. 岡山県新産帰化植物アメリカアワゴケの記録. しぜんしくらしき, (115): 11. (12月1日)

狩山俊悟, 岡山県植物誌資料(21) 岡山県のクク科アゼトウナ属. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (36): 81-87. (3月15日)

(2) 昆虫分野 (25件)

Shinohara, A., 2019. The *Xiphydria palaeoarctica* group from Japan (Hymenoptera, Xiphydriidae). Zootaxa, 4608(3): 531-542.

Shinohara, A. & Y. Kameda, 2019. DNA barcodes and morphology revealed three species masquerading in *Xiphydria camelus* of authors (Hymenoptera, Xiphydriidae) in Northeast Asia: *X. eborata* sp. rev. and *X. albopicta* sp. nov. Zootaxa, 4612(2): 171-186.

(以上, 令和元年度館報記載もれ)

Suenaga, H., A revision of the genus *Altica* (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae) of Japan. Japanese Journal of systematic Entomology, Supplementary Series, (2): 163-258. (4月30日)

Takahashi, N., & S. Imasaka, Two new species and a new distribution record of the genus *Malthodes* Kiesenwetter (Coleoptera: Cantharidae) from Japan, with notes on the male and female abdominal morphology. Zootaxa, 4778 (2): 357-371. (5月14日)

高桑正敏・小林博之・小林敏男編, 月刊むし・昆虫図説シリーズ13, 日本のコバヤハズカミキリ. 162 pp. むし社, 東京. (5月20日)

奥島雄一・岡本泰典, 岡山県第一岡山中学校で昭和初期に発行された科学雑誌および昆虫関係記事について (1). しぜんしくらしき, (113): 7-11. (6月1日)

片山祿弘, 美作市でトゲナナフシを採集. しぜんしくらしき, (113): 13. (6月1日)

倉敷市立自然史博物館編 (昆虫類: 奥島雄一・神田佐奈恵編), 岡山県のレッドデータ生物 2020. 75 pp. 倉敷市立自然史博物館. (7月18日)

奥島雄一・岡本泰典, 岡山県第一岡山中学校で昭和初期に発行された科学雑誌および昆虫関係記事について (2). しぜんしくらしき, (114): 4-6. (9月1日)

奥島雄一, #おうち観察会. しぜんしくらしき, (114): 15-18. (9月1日)

津下智・奥島雄一, 岡山県におけるクマゼミの特異な色彩変異個体の記録. Cicada, 27(1): 1-2. (11月30日)

山田洋平, ヤママユの雌雄型の記録. 月刊むし, 東京, (598): 2. (12月1日)

小橋理絵子, 岡山県におけるキマダラヒメガガンボの記録. しぜんしくらしき, (115): 2. (12月1日)

山地治・奥島雄一・末長晴輝・神田佐奈恵・松本光平, 黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本 (岡山県産) (1). しぜんしくらしき, (115): 7-11. (12月1日)

岡本泰典, 倉敷市児島通生でトゲナナフシを記録. しぜんしくらしき, (115): 14. (12月1日)

奥島雄一, 真備美しい森の昆虫. しぜんしくらしき, (115): 15. (12月1日)

岸田泰則・矢野高広・三田村敏正・五島正幸・中島秀雄, 日本のヤマユガ. 144 pp. むし社, 東京. (12月15日)

Murakami, H. & R. Gerstmeier, A new species of the genus *Elasmocylidrus* Corporaal, 1939 (Cleridae: Tillinae) from Japan, with new records of *Elasmocylidrus tricolor*. Japanese Journal of Systematic Entomology, 26 (2): 281-285. (12月30日)

Sato, R. & A. Ichikawa, A new species of the genus *Xya* Latreille, 1809 (Orthoptera: Tridactyloidea: Tridactylidae) from Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology, 26 (2): 290-293. (12月30日)

奥島雄一, コガタスズメバチ. 自然のおはなし, 152, 山陽新聞 (さん太タイムズ), (49431): 7. (1月10日)

山地治・奥島雄一・末長晴輝・神田佐奈恵・松本光平, 黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本 (岡山県産) (2). しぜんしくらしき, (116): 7-11. (3月1日)

奥島雄一, #おうち観察会 2. しぜんしくらしき, (116): 14-19. (3月1日)

千田喜博, 岡山県におけるツヤクサアリアリヅカムシの記録. さやばねニューシリーズ, (41): 25. (3月25日)

小橋理絵子, 岡山県でのヒメハチモドキハナアブ採集記録. すずむし, 倉敷, (156): 7-8. (3月31日)

越山洋三, 玉野市と倉敷市におけるアカマダラハナムグリ採集記録. すずむし, 倉敷, (156): 63-64. (3月31日)

12 収蔵設備の充実

昆虫標本保管庫(木製, 大型ドイツ箱24箱用) 4台.
昆虫標本保管棚(木製, 自作, 大型ドイツ箱16箱用) 18台

13 収蔵庫の燻蒸

場所: 第1収蔵庫(使用薬剤: エキヒュームS)
期間: 6月28日~7月1日

II. 調査研究事業

1 機関研究

- (1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究(調査日)
[地学分野: 武智泰史] 9月6日, 12月20日.
[植物分野: 狩山俊悟] 8月26日, 9月6日, 11月15日.
[昆虫分野: 奥島雄一] 8月26日, 9月6日, 11月15日.
[動物分野: 江田伸司] 8月2日, 26日, 9月6日.
- (2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究(調査日)
[植物分野: 狩山俊悟] 4月30日, 5月5日, 8日, 19日, 20日, 6月10日, 27日, 10月22日, 24日, 11月17日, 28日, 12月10日, 1月6日, 31日, 2月13日, 3月14日.
[昆虫分野: 奥島雄一] 6月25日, 7月12日, 26日, 12月11日, 3月14日.
[動物分野: 江田伸司] 9月26日, 10月10日.

2 分野別研究テーマ

- (1) 地学: 武智泰史
地質鉱物の研究.
- (2) 植物: 狩山俊悟
ア 岡山県産植物の分類, 地理学的研究.
イ 宇野確雄植物コレクションの分類学的研究.
ウ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援.
エ 岡山県高梁市の植物相調査.
オ 「タンポポ調査・西日本2020」への参加.
- (3) 昆虫: 奥島雄一
ア 岡山県の昆虫調査.
イ ジョウカイボン科(コウチュウ目)の分類学的研究.
ウ 自然史資料の収集と活用について.
- (4) 動物: 江田伸司
岡山県の動物調査.

3 研究業績などの公表

- (1) 博物館講座「学芸員研究紹介」
「火成岩の種類とそのでき方」演者: 武智泰史, 1月10日, 18名.

「タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のキク科アゼトウナ属」演者: 狩山俊悟, 2月14日, 21名.

「岡山県の野鳥について」演者: 江田伸司, 3月14日(中止).

- (2) 博物館講座「むしむし探検隊研究発表会」

3月20日, 倉敷市立美術館, 63(18)名.

「どうなる虫屋の遺産~あげる側ともらう側の事情~」演者: 奥島雄一.

「昭和天皇に献上された岡山県産昆虫標本一調査の経緯と概要について」演者: 奥島雄一.

- (3) 当館より発行された刊行物

倉敷市立自然史博物館研究報告第36号, 3月15日, 550部発行, A4判, 87ページ, 本文一部カラー, 寄贈交換先へ配布するほか, 1部1,364円(税込)で有料頒布. 収録報文

(*は館外研究者)

[論文]

三宅誠治*・神保宇嗣*・奥島雄一・岡本泰典*・並河洋*・中村剛之*, 昭和天皇に献上された岡山県産昆虫標本. 1-34.

三宅誠治*, 岡山県に於けるスギタニルリシジミの生息状況. 35-68.

岡崎拓也*・亀崎直樹*, 山陽地方の大型河川で動画に映る魚類の比較. 69-76.

瀬島翔馬*・末長晴輝*, 岡山県におけるカギアシゾウムシ属2種の記録(コウチュウ目, ゾウムシ科). 77-80.

[ノート]

狩山俊悟, 岡山県植物誌資料(21)岡山県のキク科アゼトウナ属. 81-87.

- (4) 当館以外の刊行物への寄稿(111件)

ア 武智泰史: 地学担当(15件)

こはく, 自然のおはなし, 山陽新聞. (4月12日)

スズ, 自然のおはなし, 山陽新聞. (7月12日)

静岡県河津町浜のモルデン沸石. しぜんしくらしき, (114): 12. (9月1日)

コペリン(青)による斑銅鉱(褐)の交代組織. しぜんしくらしき, (114): 2. (9月1日)

辰砂の内部反射(赤). しぜんしくらしき, (114): 2. (9月1日)

日本の金銀産出, 自然のおはなし, 山陽新聞. (11月8日)

スクッテルダイト. しぜんしくらしき, (115): 16. (12月1日)

閃亜鉛鉱. しぜんしくらしき, (115): 16. (12月1日)

学芸員研究紹介「地学」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (350): 9. (2月13日)

地学教室「めのうの研磨」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (350): 9. (2月13日)

愛媛県新居浜市別子山保土野谷川のコランダム(ルビー)について. しぜんしくらしき, (116): 4. (3月1日)

兵庫県養父市吉井の中瀬鉱山の2, 3の鉱物について. しぜんしくらしき, (116): 6. (3月1日)

花こう岩の侵食地形. しぜんしくらしき, (116): 12. (3月1日)

徳島県吉野川市山川町産緑れん石. しぜんしくらしき, (116): 19. (3月1日)

蛇紋岩, 自然のおはなし, 山陽新聞. (3月14日)

イ 狩山俊悟: 植物担当 (38件)

「タンポポ調査・西日本2020」に参加しませんか. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (340): 2. (4月11日)

令和2年度会費納入のお願い(最終案内). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (340): 2. (4月11日)

第301回シダ観察会—浅口市(旧金光町・旧鴨方町)—(2020年2月11日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (340): 3. (4月11日)

「タンポポ調査・西日本2020」が始まりました. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (340): 5. (4月11日)

「タンポポ調査・西日本2020」の1年延長について. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (341): 10. (5月9日)

植物の文献情報20200509. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (341): 13. (5月9日)

第302回シダ観察会—赤磐市(旧赤坂町)—(2020年3月15日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (341): 8. (5月9日)

釜島(倉敷市下津井)の海岸性植物. しぜんしくらしき, (113): 14. (6月1日)

倉敷ケーブルテレビの新コンテンツ「くらしき自然史探険隊」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (342): 12. (6月13日)

第303回シダ観察会—高梁市(旧高梁市)—(2020年4月20日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (342): 4. (6月13日)

「タンポポ調査・西日本2020」の2020年調査が終わりました. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (342): 6. (6月13日)

第304回シダ観察会—備前市(旧吉永町)—(2020年5月18日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (343): 2. (7月11日)

「タンポポ調査・西日本2020」の処理状況(2020年7月2日現在). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (343): 5. (7月11日)

第305回シダ観察会—真庭市(旧北房町)—(2020年6月15日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (344): 2. (8月8日)

「タンポポ調査・西日本2020」の2020年調査結果がまとまりました. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (344): 4. (8月8日)

人吉城歴史館被災標本レスキューのお願い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (344): 5. (8月8日)

米原勘次郎氏の植物標本, 九州豪雨で水没, 救出中, 自然のおはなし. 山陽新聞(さん太タイムズ). (8月9日)

第306回シダ観察会—鏡野町(旧鏡野町)—(2020年7月13日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (345): 2. (9月12日)

人吉城歴史館被災標本レスキューのお礼. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (345): 6. (9月12日)

狩山俊悟. ミニ展示「地方植物誌の著者による採集標本」を展示. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (345): 6. (9月12日)

博物館講座「植物の採集方法と標本の作り方」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (345): 6. (9月12日)

第307回シダ観察会—津山市(旧阿波村)—(2020年8月24日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (346): 2. (10月10日)

身近な植物たち(12) キキョウ. 倉敷の自然. (109): 24. (10月31日)

参加スタンプ10個集めて友の会オリジナル野帳をもらおう!. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (347): 6. (11月14日)

久賀ダム下流(美作市久賀)のつる性植物. しぜんしくらしき. (115): 15. 16. (12月1日)

第309回シダ観察会—美作市(旧大原町)—(2020年10月19日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (348): 5. (12月12日)

くつついて運ばれる種, 良い生育条件求め工夫, 自然のおはなし. 山陽新聞(さん太タイムズ). (12月13日)

スライド写真会「花の百名山を訪ねて7～安達太良山、伊吹山、大山～」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (349): 10. (1月9日)

ミニ展示「干支(ウシ)にちなんだ植物」開催中. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (349): 10. (1月9日)

第310回シダ観察会—真庭市(旧落合町)—(2020年11月16日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (349): 3. (1月9日)

第311回シダ観察会—八丈島(東京都八丈島八丈町)—(2020年12月4日～7日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (350): 3. (2月13日)

「タンポポ調査・西日本2020」の調査用紙を同封. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (350): 6. (2月13日)

ミニ展示「『環境省レッドリスト2020』に掲載された絶滅危惧植物」開催中. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (350): 9. (2月13日)

「地理院地図」がバージョンアップ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (350): 9. 1. (2月13日)

倉敷市立真備図書館の「MABI BIRD」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (351): 11. (2月13日)

「自然素材を使ったひな飾り」を展示しました. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (351): 11. (3月13日)

第312回シダ観察会—鹿久居島(備前市日生町日生)—(2021年1月11日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (351): 5. (3月13日)

身近な植物たち(12) コオニタビラコ. 倉敷の自然. (110): 24. (3月31日)

ウ 奥島雄一: 昆虫担当 (55件)

共著: 奥島雄一・三宅誠治, 井上立コレクションの発見. KURAKON, 倉敷, (91): 505. (4月2日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内. KURAKON, 倉敷, (91): 507-508. (4月2日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: お誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (340): 4. (4月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (340): 5. (4月11日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (341): 9. (5月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (341): 10. (5月9日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (341): 13. (5月9日)

ウスバシロチョウ. 自然のおはなし, 144, 山陽新聞(さん太タイムズ), (49194): 7. (5月10日)

共著: 奥島雄一・岡本泰典, 岡山県第一岡山中学校で昭和初期に発行された科学雑誌および昆虫関係記事

について(1). しぜんしくらしき, (113): 7-11. (6月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (342): 5. (6月13日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (342): 6. (6月13日)

「むしむし探検隊」活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (342): 6. (6月13日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (342): 12. (6月13日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (343): 3. (7月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (343): 4. (7月11日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (343): 7. (7月11日)

原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 活動報告とご案内. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (344): 3. (8月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (344): 5. (8月8日)

博物館講座「昆虫の標本の作り方」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (344): 5-6. (8月8日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (344): 6. (8月8日)

共著: 奥島雄一・岡本泰典, 岡山県第一岡山中学校で昭和初期に発行された科学雑誌および昆虫関係記事について(2). しぜんしくらしき, (114): 4-6. (9月1日)

奥島雄一, #おうち観察会. しぜんしくらしき, (114): 15-18. (9月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 活動報告とご案内. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (345): 3. (9月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (345): 4. (9月12日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (345): 7. (9月12日)

ナツアカネ. 自然のおはなし, 148, 山陽新聞(さん太タイムズ), (49317): 7. (9月13日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (346): 3. (10月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (346): 4. (10月10日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (346): 9. (10月10日)

倉敷市立自然史博物館のお知らせ. KURAKON, 倉敷, (93): 516. (11月13日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(347)：3．(11月14日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(347)：5．(11月14日)

共著：津下智・奥島雄一，岡山県におけるクマゼミの特異な色彩変異個体の記録．Cicada, 27(1)：1-2．(11月30日)

共著：山地治・奥島雄一・末長晴輝・神田佐奈恵・松本光平，黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本(岡山県産)(1)．しぜんしくらしき，(115)：7-11．(12月1日)

真備美しい森の昆虫．しぜんしくらしき，(115)：15．(12月1日)

クロガネモチを食すキアゲハ幼虫を観察．しぜんしくらしき，(115)：18．(12月1日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(348)：7．(12月12日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(348)：8．(12月12日)

令和3年度会費納入のお願い．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(348)：10．(12月12日)

むしむし探検隊白石島探検報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(348)：13．(12月12日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(349)：4．(1月9日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(349)：5．(1月9日)

令和3年度会費納入のお願い．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(349)：9．(1月9日)

コガタズメバチ．自然のおはなし，152，山陽新聞(さん太タイムズ)，(49431)：7．(1月10日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(350)：5．(2月13日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(350)：6．(2月13日)

令和3年度会費納入のお願い．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(350)：8．(2月13日)

特別展「岡山県のレッドデータ生物2020」展示解説(昆虫)報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(350)：9．(2月13日)

共著：山地治・奥島雄一・末長晴輝・神田佐奈恵・松本光平，黒田祐一博士の遺品から発見された終戦前の昆虫標本(岡山県産)(2)．しぜんしくらしき，(116)：7-11．(3月1日)

#おうち観察会2．しぜんしくらしき，(116)：14-19．(3月1日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(351)：4．(3月13日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(351)：6．(3月13日)

令和3年度会費納入のお願い(最終案内)．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(351)：10．(3月13日)

I should express my special thanks to Dr. Shun-ichi Ueno. さやばねニューシリーズ，(41)：66-68．(3月25日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内．KURAKON，(94)：521-522．(3月28日)

エ 江田伸司：動物担当(3件)

シュレーゲルアオガエル．自然のおはなし，145，山陽新聞(さん太タイムズ)，(49229)：7．(6月14日)

野鳥の楽しみ方．自然のおはなし，149，山陽新聞(さん太タイムズ)，(49344)：7．(10月11日)

岡山県のレッドデータ．自然のおはなし，153，山陽新聞(さん太タイムズ)，(49466)：7．(2月14日)

(5) 発表・講演

ア 奥島雄一：昆虫担当(1件)

生物多様性を次世代に伝える一岡山の昆虫編一．旭川源流大学実行委員会・岡山野生生物調査会合同総会記念講演，操山公園里山センター(岡山市)．(1月31日)

4 査読

奥島雄一：昆虫担当(6件)

4月11日 Taiwanese Journal of Entomological Studies, Taiwan.

5月28日 The Coleopterists Bulletin.

8月10日 Elytra, New Series, Tokyo.

8月15日 Elytra, New Series, Tokyo.

9月2日 Elytra, New Series, Tokyo.

9月17日 Elytra, New Series, Tokyo.

5 標本レスキュー

人吉城歴史館の植物標本レスキュー(全285枚)：作業日数17日，作業人数17人延べ70人(ほかに見学者18人)。

Ⅲ. 展示事業

1 常設展

[エントランスホール]

動くナウマンゾウの母子，倉敷の化石動物。

[第1展示室：岡山県のなりたち] 展示数約270点

地球と生物の歴史，岡山県の地史，岡山県の地形，ナウマンゾウ骨格模型，倉敷市の地質と岩石，岡山県のスカルン，岡山県の岩石と鉱物，倉敷周辺の平野のなりたち。

[第2展示室：岡山県のいきもの] 展示数約1,000点

岡山県の地形・地質と気候，岡山県の自然といきもの，阿哲の石灰岩台地，自然は変わる，ビデオコーナー。

[第3展示室：昆虫の世界] 展示数約9,200点

体のしくみ，昆虫の歴史と分類，色と形のふしぎ，世界の昆虫，昆虫の生活，当館の昆虫コレクション，話題の虫。

[第4展示室：植物の世界] 展示数約1,000点

生物の五界説，植物のかたち，植物のなかま，植物の分布，岡山県の植物，倉敷市の植物，くらしの中の植物，自由展示。

2 特別展

(1) 実施概要

標題：第29回特別展「岡山県のレッドデータ生物2020」

会期：令和3年1月16日（土）～4月4日（日）

会場：特別展示室

主催：倉敷市立自然史博物館

共催：倉敷市立自然史博物館友の会

観覧料：通常観覧料

(2) 展示内容

令和2年3月に岡山県から「岡山県版レッドデータブック」の改訂版が公表されたのを機に，実物の標本や写真などを用いて岡山県における野生生物の危機的状況を広く紹介した。「岡山県版レッドデータブック2020」に掲載された動植物1,485種の中から知名度の高いもの，岡山県にゆかりの深いものなど，313種（動物80点，昆虫153点，植物80点）を厳選して，標本，写真，解説パネルなどで紹介した。

(3) 図録

「岡山県のレッドデータ生物2020」（B5判90ページ1,100部，2020年7月18日発行。

執筆者・写真撮影者一覧（分類群別五十音順）

哺乳類／執筆 小林秀司・中本 敦，写真 川田伸一郎・中本 敦・矢吹 章・山田 勝・岡山県自然保護センター・岡山理科大学生物地球学科動物自然史研究室・岡山理科学動物学科動物保全学研究室

鳥類／執筆 多田英行・丸山健司，写真 栗岡武史・香西宏明・小林健三・洪楸 啓・島本 明・濱 孝志・宮彰男・三宅和子

爬虫類／執筆 山田 勝，写真 山田 勝

両生類／執筆 江田伸司・山田 勝，写真 山田 勝

魚類／執筆 阿部 司，写真 阿部 司

頭索動物／執筆 和田太一，写真 和田太一

汎甲殻類／執筆 佐藤大義・縮次美穂・末永崇之・中田和義・和田太一・渡部哲也，写真 木村昭一・齋藤 稔・佐藤大義・富川 光・中田和義・和田太一・渡部哲也

ザトウムシ類／執筆 鶴崎展巨，写真 岡本泰典

クモ類／執筆 野嶋宏一，写真 野嶋宏一

環形動物／執筆 佐藤正典・田中正敦，写真 佐藤正典・田中正敦

軟体動物／執筆 上地健琉・柏尾 翔・亀田勇一・木村昭一・久保弘文・近藤高貴・齊藤 匠・瀬尾友樹・John D. Taylor・早瀬善正・Ángel A. Valdés・平野尚浩・平野弥生・福田 宏・元陳力昇・和田太一，写真 池本茂豊・柏尾 翔・亀田勇一・久保弘文・John D. Taylor・福田宏・和田太一

腕足動物／執筆 福田 宏・吉松定昭・和田太一，写真 福田 宏・吉松定昭

扁形動物／執筆 多留聖典，写真 和田太一

刺胞動物／執筆 平野弥生・柳 研介，写真 柳 研介

昆虫類／編集 奥島雄一・神田佐奈恵，写真 奥島雄一
コケ植物／執筆 西村直樹，写真 狩山俊悟・川合啓二・西村直樹

シダ植物／執筆 山下 純，写真 狩山俊悟

種子植物／執筆 榎本 敬・太田 謙・片岡法子・片岡博行・狩山俊悟・熊瀬徳輝・小畠裕子・地職 恵・難波靖司・西本 孝・波田善夫・星野卓二・森定 伸・山下純・雪江祥貴，写真 片岡博行・狩山俊悟・小畠辰三（故人）・佐栞信也・高原千春・地職 恵

表紙編集／泉川菟子

上記以外の協力者・協力機関（分類群別五十音順）

全般／岡山県環境文化部自然環境課・岡山県環境保全事業団

動物／一般財団法人自然環境研究センター・NPO 法人南港ウェットランドグループ・大阪教育大学・岡山県自然保護センター・岡山大学環境理工学部環境管理工学科・岡山大学大学院環境生命科学研究科（農）・岡山理科大学動物学科動物保全学研究室・沖縄県海洋深層水研究所・香川県水産試験場・鹿児島大学大学院理工学研究科・株式会社ウエスコ・株式会社東海アクアノーツ・株式会社ラーゴ生物多様性研究室・きしわだ自然資料館・近畿大学農学部環境管理学科・近畿大学農学部農学研究科・倉敷市立自然史博物館友の会・慶応義塾大学商学部・国立科学博物館分子生物多様性研究資料センター・千葉県

立中央博物館分館海の博物館・Department of Biological Sciences, California State Polytechnic University, Pomona・東邦大学東京湾生態系研究センター・東邦大学理学部生物学科・東北大学大学院生命科学研究科・東北大学東北アジア研究センター・鳥取大学地域学部地域環境学科・The Natural History Museum, London・南紀生物同好会・西宮市貝類館・日本野鳥の会岡山県支部・三重大学大学院生物資源学研究所・山口大学大学院創成科学研究科・琉球大学理学部海洋自然科学科

昆虫／伊藤國彦・加藤 学・末長晴輝・高橋 元・中村具見・藤澤侑典・守安 敦・山地 治・吉澤聡史・吉鷹一郎・渡辺和夫・渡部晃平

植物／浅井幹夫・池田 博・池畑智江・稲岡 勝・猪 雅人・岡田智子・岡本泰典・片山 久・木口博史・小見山節夫・古屋野寛・島岡浩恵・高田眞一（故人）・高山敬三・立石幸敏（故人）・谷口啓一・西平直美・松本哲也・三村照治・三好 薫・矢野興一・和田 優・岡山県自然保護センター・岡山大学資源植物科学研究所・岡山理科大学自然フィールドワークセンター

(4) 会期中の観覧者数 6,126名

3 特別陳列

(1) 「新着資料展2020<総合>」3月7日～4月5日，特別展示室，ブッポウソウ本剥製，ミヤマホオジロ本剥製，ブラジルの電気石・紫水晶，中国の水銀鉱石（辰砂），福井県の球状花崗岩，小島裕子植物コレクションの一部，岡山県新産・希産植物標本などを展示。

(2) 「畠田和一貝類コレクション展2 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅種1」4月11日～9月27日，2階事務室前。

「畠田和一貝類コレクション展3 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅種2」10月10日～3月28日，2階事務室前。

(3) 「新着資料展<チョウ・ガ>」7月11日～8月8日，特別展示室，清水健一コレクション（約15,000点），渡辺和夫コレクション（6,831点），喜多嶋鐵也コレクション（約1,300点），富山哲夫コレクション（約163点）を展示。

(4) 「新着資料展<甲虫など>」8月19日～9月27日，特別展示室，三木進コレクション（約18,000点），松本堅一コレクション（約3,400点）を展示

(5) 「むしむしサロン」8月22日～9月6日，講義室，出品者数18名，出品点数31ケース。

(6) 「野鳥の色鉛筆画と剥製のコラボ展」10月3日～10月25日，特別展示室，岡山動物画の会（講師越山洋三）の作品47点，当館の剥製41点を併せて展示。

(7) 「みんなの動物ラボ」（脊椎動物グループ）11月1日～11月7日，特別展示室。

(8) 「第28回しぜんしくらしき賞作品展」11月14日～1月6日，特別展示室，共催：倉敷市立自然史博物館友の会，出品点数31点。

4 ミニ水族館の展示（敬称略）

(1) 動植物の提供など

4月19日	トンボ科幼虫，オタマジャクシ，タニシ類	稲垣結士
4月24日	マツモ	小田敦子
5月20日	マツモ	小田敦子
6月25日	ガムシ科幼虫，シマアメンボ，トンボ類幼虫，オタマジャクシ	奥島雄一・神田佐奈恵
7月2日	ミナミメダカ，ギンブナ，モツゴ	泉川晴波
7月5日	コオイムシ（卵付き）	神田知春
7月8日	キベリマメゲンゴロウ，小魚	泉川晴波
7月12日	コオニヤンマ幼虫，オニヤンマ幼虫，カワトンボ科幼虫，ヒメアメンボ，シマアメンボ，マメゲンゴロウ等	奥島雄一・神田佐奈恵
8月20日	小魚，エビ類	宮本悠希
8月22日	タガメ	衛藤慎一
9月3日	水草，カワニナ類	神田佐奈恵
9月6日	ミナミメダカ，タニシ類	守屋千晴
3月31日	トンボ科幼虫	泉川晴波・花楓

(2) 淡水魚の管理委託

3月15日～ 倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科山野研究室：山野ひとみ，岡畑 巧，延べ4回。

5 常設展示の更改

(1) 第3展示室「当館の昆虫コレクション」随時更新。

「話題の虫」昆虫宝箱発見，トンボの抜け殻標本，ウスバシロチョウ，ベッコウトンボ，ナツアカネ，ヒョウモンモドキ，ヤママユの雌雄型，オレンジ色のクマゼミ，コガタズメバチ，岡山県から昭和天皇に献上された90年前の昆虫標本を発見（ポスター）。

(2) 第4展示室「植物の自由展示」

2月26日～8月15日 「タンポポ調査・西日本2020」。

8月16日～12月17日 「地方植物誌の著者による採集標本」。

12月18日～1月15日 「干支（ウシ）にちなんだ植物」。

1月16日～4月13日 「『環境省レッドリスト2020』に掲載された絶滅危惧植物」。

6 恐竜のぬり絵

恐竜：ティラノサウルス，トリケラトプス，プレラノドン

7 自然情報掲示板の設置

1階受付前に設置し、最新の自然の話題などを紹介している。随時更新。

8 まちかど博物館（高梁川流域連携中枢都市圏事業）

当館が所蔵する岩石、鉱物、化石、植物、昆虫、動物などの本物の標本を、移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて、公共性の高い施設、または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている。

令和2年度新規貸出実績：延べ14施設、32台（継続含まず、更新含む）。設置先：倉敷市立西小学校、倉敷市立下津井西小学校、倉敷市立南浦小学校、倉敷市立中央図書館、倉敷市立水島図書館、倉敷市立児島図書館、倉敷市立船穂図書館、ライフパーク倉敷市民学習センター、橘今保育園、倉敷市役所教育長室、倉敷児童館、児島児童館、倉敷昆虫館、倉敷駅前観光案内所（倉敷市観光コンベンションビューロー）。

9 ボランティアの活動

(1) ミニ水族館の淡水魚の管理（敬称略）

倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科：山野ひとみ、

岡畑 巧，延べ46回。

(2) 昆虫ボランティアガイドの活動（敬称略）

藤沢悦治，1回。

10 他館展示協力

4月1日～3月31日 倉敷埋蔵文化財センター，常設展（哺乳類化石を貸出）。

4月1日～3月31日 岡山県自然保護センター，常設展（哺乳類化石を貸出）。

4月1日～3月31日 岡山県立博物館，常設展（哺乳類化石を貸出）。

7月23日（木）～9月27日（日）島根県立三瓶自然館令和2年夏期特別展「島根にもいた！失われたゾウの世界」における展示（哺乳類化石を貸出）。

8月25日（火）～11月14日（土）高知市立龍馬の生まれたまち記念館コーナー展「生誕150年 化学者で文化人 近重真澄」の解説パネル（自然テレルの画像の使用許可）。

IV. 教育普及事業

※参加者（カッコ内は野外活動における中学生以下の人数）

1 自然観察会 参加者合計351(102)名

4月11日 第340回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2020年春」倉敷市寿町，中止

4月19日 第341回自然観察会「おかやま自然探訪65」和気郡和气町矢田，中止

4月25日 第342回自然観察会「岡山県北部のタンポポ調査2020」真庭市蒜山高原，中止

5月10日 第343回自然観察会「楽しい魚採り」倉敷市酒津，中止

5月31日 第344回自然観察会「中国山地の観察植物4～中蒜山～」真庭市蒜山町，中止

6月27日 第345回自然観察会「ブッポウソウ観察会 in 鳥取」鳥取県南部町，中止

7月11日 第346回自然観察会「ブッポウソウ単立ち観察会 in 岡山」加賀郡吉備中央町，中止

7月12日 第347回自然観察会「夏だ！昆虫採集」倉敷市真備町，103(45)名

7月26日 第348回自然観察会「高梁川流域自然たんけん1」浅口市鴨方町，中止

8月8日 第349回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2020年夏」倉敷市寿町，中止

9月6日 第350回自然観察会「おかやま自然探訪66」美作市久賀，32(10)名

9月13日 第351回自然観察会「ミズアオイ観察会」倉敷市加須山，50(17)名



自然観察会【楽しい魚採り】

10月10日 第343回自然観察会「楽しい魚採り」倉敷市酒津，44(15)名

11月14日 第352回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2020年秋」倉敷市寿町，中止

12月20日 第353回自然観察会「高鳥居山の地学ハイキング」倉敷市三田～二子，19(2)名

1月31日 第354回自然観察会「ミズアオイの種まき会」倉敷市加須山，40(11)名

2月13日 第355回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2021年冬」倉敷市寿町，63(2)名

2 博物館講座 参加者合計173名



博物館講座【昆虫の標本の作り方】

- 4月5日 「岡山県のタンポポ調査」, 中止
 6月27・28日 「昆虫の標本の作り方」 39名
 7月12日 「植物の採集方法と標本の作り方」 18名
 10月18日 「色鉛筆で野鳥を描いてみよう」 14名
 1月10日 「学芸員研究紹介ー地学ー: 火成岩の種類とそのでき方」 18名
 2月14日 「学芸員研究紹介ー植物ー: タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のキク科アゼトウナ属」 21名
 3月13日 「学芸員研究紹介ー動物ー: ブッポウソウについて」, 中止
 3月20日 「むしむし探検隊研究発表会: どうなる虫屋の遺産〜あげる側ともらう側の事情〜; 昭和天皇に献上された岡山県産昆虫標本ー調査の経緯と概要について」
 63名

3 特別展関連講座

- 1月16日 「特別展展示解説ー植物ー」 15名
 1月17日 「特別展展示解説ー昆虫ー」 33名
 3月13日 「特別展展示解説ー動物ー」 中止

4 自然の標本なんでも相談会

- 8月16日 事前に標本等を預かる形で開催, 26名

5 動物研究会

- 5月23日 「第10回魚類調査」 浅口市金光町, 中止

6 地学教室

- 1月17日 「めのうの研磨」 20名

7 植物教室

- 4月5日 「タンポポ調査のデータ整理方法」 中止
 3月14日 「真備図書館周辺の植物」 17(5)名

8 むしむし探検隊 参加者延べ123(17)名

隊長: 奥島雄一(館員), サポートスタッフ: 岡野貴司, 中野一成, 磯野裕昭, 加藤学, 高橋元, 末長晴輝, 藤澤侑典, 武田寛生, 武田雅生, 松本光平, 藤本徹哉, Autumn

Sehy, 水井颯麻, 植松蒼, 秦啓翔, 西恵夢, 坂本慎弥, 神田佐奈恵(館員), 隊員(小5~高1) 12名

- 4月18日(郵送) 入隊説明会&オリエンテーション
 7月26日 第1回探検 倉敷市向山, 20(9)名
 8月22日~9月6日 「むしむしサロン」出品 12名
 9月1日~27日 「しぜんしくらしき賞」応募 10名
 11月15日 第2回探検 笠岡市白石島, 18(8)名
 3月20日 研究発表会(倉敷市立美術館), 63名
 「博物館の達人」認定 延べ2名

9 自然素材を使った手作り教室

毎月第2日曜日開催 4月~10月中止(ただし11月~2021年2月は秋冬スペシャルとして開催) 延べ152名

10 折り紙教室

毎月第4日曜日 中止

11 スライド映写会

12月12日 高山植物スライド会「花の百名山を訪ねて7~安達太良山, 伊吹山, 大山」 32名

12 昆虫標本作り体験教室(計11回, 12名)

希望者(事前予約)を対象とした昆虫標本作り

- 8月4日 1名, 8月5日 1名, 8月7日 1名, 8月9日 1名, 8月19日 1名, 8月29日 1名, 9月15日 1名, 10月31日 1名, 11月29日 1名, 1月31日 2名
 3月17日 1名

13 第20回 11月3日は自然史博物館まつり

中止

14 自然史博物館秋冬スペシャル

(1) 実施概要

2020年11月~2021年2月にかけて, スペシャルイベントを開催

共催: 倉敷市立自然史博物館友の会

協力: 倉敷芸術科学大学芸術学部メディア映像学科, 岡山大学ギターマンドリンクラブ

(2) 関連イベント

- 11月1日 「博物館のお宝探検ー植物ー」 8名
 11月3日 「岡山大学ギターマンドリンクラブ演奏会」 延べ102名
 11月8日 「博物館のお宝探検ー動物ー」 6名
 11月15日 「手作り教室ーがりがりトンボで遊ぼうー」 6名
 11月15日 「手作り教室ーリースを作ろうー」 16名
 11月21日 「ミュージアムパズルをつくろう!!」 37名
 11月23日 「博物館のお宝探検ー昆虫ー」 14名
 11月28日 「博物館のお宝探検ー植物ー」 0名
 11月28日 「缶バッジ作り」 6名

- 11月29日 「缶バッジ作り」 11名
 11月29日 「博物館のお宝探検ー植物ー」 8名
 12月13日 「手作り教室ークリスマスリースを作ろうー」 11名
 12月19日 「バードウォッチング超入門」 3(1)名
 1月10日 「手作り教室ー干支の置物を作ろうー」 4名
 1月16日 「バードウォッチング超入門」 4(2)名
 2月14日 「手作り教室ーお雛様などを作ろうー」 14名

【ARで恐竜などが出現】

展示室内のQRコードにスマートフォンやタブレットをかざすと恐竜やナウマンゾウなどの画像が出現

【展示室をVRパノラマでHPに掲載】

展示室を360度カメラで撮影したものをHP上に掲載

15 ないと・みゅーじあむ

中止

16 出版物

「パオちゃん's EYE」

No. 37 「2019年のタンポポ調査結果」狩山俊悟（4月）

No. 38 「日本にありながら日本からずっと遠い場所でできた岩石」武智泰史（5月）

No. 39 「畠田和一貝類コレクション展2」江田伸司（6月）

No. 40 「ベッコウトンポ」奥島雄一（7月）

No. 41 「2020年のタンポポ調査結果」狩山俊悟（8月）

No. 42 「岡山県の地形」武智泰史（9月）

No. 43 「岡山県のレッドデータ生物 2020」江田伸司（10月）

No. 44 「ヒョウモンモドキ」奥島雄一（11月）

No. 45 「新たに「絶滅」とされた植物」狩山俊悟（12月）

No. 46 「古生代の化石植物」武智泰史（1月）

No. 47 「岡山県のレッドデータ生物 2020」江田伸司（2月）

No. 48 「マルエンマコガネ」奥島雄一（3月）

17 レファレンス

質問、同定依頼、研究協力、原稿校閲、マスコミ取材等への対応

地学92件、植物275件、昆虫491件、動物172件、その他3件（計1,033件）

18 ガイダンス

教育普及担当職員によるエントランスホールでの案内中止

19 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館実習

総合分野：8月10～16日 西井裕一（岡山大学）、横木杏香（岡山大学）
 地学分野：9月8日～12日 窪津優花（山口大学）

(2) 博物館見学実習

[当館職員が対応したもの]

10月15日 岡山理科大学 13名
 10月17日 岡山大学 30名
 10月28日 倉敷市立短期大学 52名
 11月13日 岡山商科大学 11名

(3) 小中高校生の実習

中止

20 講師派遣（「出前講座」含む）参加者合計1,148(64)名

(1) 狩山俊悟：植物担当（21回、約1,046(38)名）

6月17日 「出前講座／倉敷市立自然史博物館について（博物館資料保存論）」、倉敷芸術科学大学、27(0)名。

7月6日 「市民登山学校4月定例講座『高山植物について』」、高松市創造都市推進局文化、観光、スポーツ部スポーツ振興課、約80(0)名。

10月22日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話（園庭の樹木）」、倉敷市立葦高幼稚園、9(0)名。

10月24日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、一般社団法人クリエイターズラウンジ、23(0)名。

11月12日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、74(0)名。

11月15日 「岡山県新見市観光活性化事業草間台カルスト魅力発掘構想『草間台カルストと羅生門の植物』」、草間台エコミュージアム推進協議会、約50(0)名。

11月17日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、倉敷市立第五福田小学校（公益財団法人水島地域環境再生財団）、37(35)名。

11月19日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、74(0)名。

11月26日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、74(0)名。

11月28日 「出前講座／身近な野生植物の観察と自然史博物館について」、倉敷市立短期大学、52(0)名。

12月3日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、74(0)名。

12月10日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、74(0)名。

12月16日 「職場見学（フィールドワーク）」、岡山県立岡山一宮高等学校、約13(0)名。

12月17日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、74(0)名。

1月7日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、74(0)名。

1月17日 「自然観察会『松島の自然』」、倉敷市立自然史博物館友の会、33(3)名。

1月19日 「博物館見学研修」, 香川県立三本松高等学校, 約28(0)名.

3月1日 「森林資源学」, 福山市立大学, 44(0)名.

3月2日 「森林資源学」, 福山市立大学, 44(0)名.

3月3日 「森林資源学」, 福山市立大学, 44(0)名.

3月4日 「森林資源学」, 福山市立大学, 44(0)名.

(2) 奥島雄一: 昆虫担当 (4回, 102(26)名)

10月17日 「博物館見学実習」 岡山大学文学部 30名.

12月11日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立船穂中学校 9(8)名.

1月31日 「生物多様性を次世代に伝える—岡山の昆虫編—」 旭川源流大学実行委員会・岡山野生生物調査会合同総会記念講演, 操山公園里山センター (岡山市) 30名.

3月14日 「どこでも昆虫採集in真備」 (真備図書館再開記念行事) 共催: 倉敷市立真備図書館 33(18)名.

21 マスコミ報道 (館名, 氏名公表分のみ) (73件)

(1) 倉敷市立自然史博物館 (9件)

5月15日発行 山陽新聞 (おかくらプラス), 「観察や標本作り, 分かりやすく解説, 倉敷・自然史博物館HP」.

7月26日発行 山陽新聞 (ちまた), 「チョウの標本ぜひ見たい」 (安藤邦緒).

9月26日発行 山陽新聞 (倉敷・総社圏版), 「地域づくり推進賞, 6団体・個人を表彰, 備中県民局 環境保全など」.

9月27日発行 山陽新聞 (社会), 「幸せ呼ぶ「ブルービー」, 玉野 ナミルリモンハナバチ飛来」

11月13日以降放映 たまテレ, 「しぜんしくらしき賞作品展」.

12月17日発行 山陽新聞 (倉敷・総社圏版), 「体験型の展示充実, 市立自然史博物館 倉敷芸科大と合同企画, 恐竜スタンプや360度映像」.

1月22日以降放映 たまテレ, 「特別展岡山県のレッドデータ生物」.

1月23日発行 山陽新聞, 「“春を告げる花” 雪割草が開花, 新見・満奇洞の暖かい空気に触れ」.

3月20日発行 山陽新聞 (おかくらプラス), 「トラの剥製が仲間入り, 倉敷市立自然史博物館, 市内企業から寄贈」.

(2) 武智泰史: 地学担当 (3件)

6月19日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「岡山県の地形について」

10月16日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「石灰岩について」

3月19日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「催し事の案内」

(3) 狩山俊悟: 植物担当 (17件)

4月17日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「小笠原諸島母島の自然」.

5月9日放送 倉敷ケーブルテレビ, 「コロナに負けるな! #おうちでKCT.『くらしき自然史探検隊#1 倉敷みらい公園 初夏の植物』」.

5月19日発行 山陽新聞, 「植物や鉱石, 自宅で学ぼう, 倉敷・自然史博物館とKCT新番組, ネットでも公開, 学芸員解説」.

5月23日放送 倉敷ケーブルテレビ, 「コロナに負けるな! #おうちでKCT.『くらしき自然史探検隊#4 倉敷市芸文館広場 初夏の植物』」.

5月28日放送 倉敷ケーブルテレビ, 「コロナに負けるな! #おうちでKCT.『くらしき自然史探検隊#6 倉敷市役所 初夏の植物』」.

6月3日放送 倉敷ケーブルテレビ, 「KCTニュース, タンポポ? この時期に咲くある植物」.

6月30日放送 倉敷ケーブルテレビ, 「コロナに負けるな! #おうちでKCT.『くらしき自然史探検隊#11 種松山公園西園地 梅雨の植物』」.

7月17日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「タンポポ調査・西日本2020」のお礼と宮沢賢治の登った山々の報告」.

7月30日発行 山陽新聞, 「九州豪雨被災植物標本救え, 倉敷自然史博物館と岡山理科大, 熊本の歴史館に協力, 収蔵品を洗浄」.

8月4日放送 NHK岡山放送局, 「もぎたて! 人吉城歴史館の植物標本レスキュー」.

8月5日放送 玉島テレビ放送, 「人吉城歴史館の植物標本レスキュー」.

8月26日発行 山陽新聞, 「ヒルゼンバイカモ, 固有種ではなかった, 県目録見直し」.

9月2日放送 NHK岡山放送局, 「もぎたて! 被災した歴史資料を修復するボランティア. いま, 全国に広がっているそのネットワークについて」.

10月6日発行 山陽新聞, 「季節外れカワヅザクラ, 春と間違え? 開花, 倉敷・酒津公園」.

10月13日発行 山陽新聞, 「表と裏にかれんな花, 新見・鯉が窪湿原, ミコシギク見つかる」.

11月20日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「2020年の山行・旅行を振り返って」.

2月19日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「2岡山県のレッドデータ植物」.

(4) 奥島雄一: 昆虫担当 (40件)

4月12日発行 山陽新聞 (さん太タイムズ), 「読んでみよう解いてみようさん太のワークシート『あふれる“昆虫愛”、探求心/「セミの寿命1週間は俗説」調査の植松さん/笠岡高卒業高知大進学新フィールド期待』」.

5月19日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「倉敷・自然史博物館とKCT新番組,植物や鉱石自宅で学ぼう,学芸員解説ネットでも公開」.

5月23日放映 たまテレ,「新種の甲虫発見」.

5月24日以降放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#3恐竜模型を修理しよう」.

5月29日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「倉敷・自然史博物館イベントで採集,昆虫2種新種と判明,ハムシ科とジョウカイボン科,「誰でも発見者に」期待膨らむ成果」.

7月11日放映 たまテレ,「新着資料展2020<チョウ・ガなど>」.

7月11日放映 倉敷ケーブルテレビ, KCTニュース,「倉敷市立自然史博物館,新着のチョウ・ガ展示」.

7月12日発行 山陽新聞(日曜ワイド),「チョウやガ類新着標本公開,倉敷・自然史博物館,希少種含む2.3万点」.

7月12日放映 倉敷ケーブルテレビ, KCTニュース,「5カ月ぶりに開催,自然観察会」.

7月21日以降放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#07昆虫標本を見てみよう」.

7月21日以降放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#09クワガタの標本を作ろう」.

7月21日以降放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#10チョウの標本を作ろう」.

7月23日以降放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#12奥島学芸員が命名した昆虫」.

8月19日放映 RNC西日本放送,ニュース,「標本2万点以上アマチュア研究者らの甲虫展」.

8月19日放映 倉敷ケーブルテレビ, KCTニュース,「自然史博物館 甲虫など標本コレクション展示」.

8月21日以降放映 たまテレ,「新着資料展2020<甲虫など>」.(神田佐奈恵)

8月21日放送 エフエムくらしき,「ナウマンの小部屋」,「おうち観察会」.

8月22日放映 倉敷ケーブルテレビ, KCTニュース,「生きている昆虫を展示『むしむしサロン』」.

9月2日以降放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTコミちゃん」「くらしき自然史探検隊#14昆虫の突然変異」.

9月4日発行 毎日新聞(岡山),「戦争にめげず昆虫研究,記者・大林さんから黒田さんへ書簡,倉敷で確認「戦後の原点示す具体資料」」.

9月9日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「アマ2人情熱の昆虫標本2万点,地域で変異,絶滅危惧種 研究ノートも,倉敷・自然史博物館で資料展」.

9月17日放送 山陽放送ラジオ,「あも〜れ!マッターリーノ」,「ラジまるレポート」,「新着資料展2020<甲虫など>」

11月13日以降放映 たまテレ,「まちかど博物館」.

12月10日放映 OHK岡山放送,「OHKニュース」,「非常に珍しい昆虫発見!…体の左半分がメス,右半分がオスの昆虫とは?」.

12月10日放映 倉敷ケーブルテレビ, KCTニュース,「ヤママユの雌雄型発見!」.

12月11日放映 KSB瀬戸内海放送,「KSBスーパーJチャンネル」,「男子高校生が発見,雄と雌が混在した「ヤママユ」 倉敷市立自然史博物館で標本展示 岡山」.

12月12日発行 毎日新聞(岡山),「体の左右が雌雄のヤママユ,倉敷の高校生,学術報告が専門誌に掲載,赤磐で発見,野外採取,自然史博物館に実物標本」.

12月13日放映 テレビせとうち,「TSCnews」「珍しい色のクマゼミ,小学生が発見」.

12月18日放送 エフエムくらしき,「ナウマンの小部屋」,「大変珍しい昆虫2種の発見」.

12月22日以降放映 たまテレ,「大変珍しい昆虫2種の発見」.

12月24日発行 山陽新聞(社会),「オレンジ色のクマゼミ発見,岡山の小4・津下君,報告例ない全身変異」.

12月25日放送 山陽放送ラジオ,「山陽新聞ニュース」,「オレンジ色のクマゼミ発見,岡山の小4・津下君」.

1月6日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「雌雄型ヤママユ採集,青陵高・山田さん国内2例目,倉敷で標本展示,左右対称的な特徴」.

1月13日発行 朝日新聞(岡山),「希少ヤママユ高1が発見,体の右半分オス 左半分メス,倉敷青陵高山田洋平さん」.

1月14日放映 倉敷ケーブルテレビ, KCTニュース,「おしゃれなカメムシ(キマダラカメムシ)」.

2月23日放映 KSB瀬戸内海放送,「News Park KSB」,「岡山県版レッドデータブック特別展,絶滅が危惧される生物,身近な環境を考える」.

3月8日放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTコミちゃん」,「くらしき自然史探検隊#14スズメバチの巣解体ショー」.

3月15日掲載 日本の研究.com,「岡山県から昭和天皇に献上された昆虫標本を 国立科学博物館で発見 — 90年前の昆虫相がよみがえる —」.

3月18日放映 テレビせとうち,「ななスパ」,「昭和天皇に献上の昆虫標本発見」.

3月19日発行 毎日新聞(岡山),「91年前の昆虫標本発見,県内採集の688点茨城の資料館で,昭和天皇コレクション来月上野で公開」.

(5) 江田伸司:動物担当(4件)

5月15日放送 エフエムくらしき,週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「岡山県版レッドデータブック2020について」.

8月12日放送 山陽放送ラジオ、「自然の標本なんでも相談会」.

9月18日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (ナウマンの小部屋) 「自然観察秋冬スペシャルについて」.

1月15日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ (マウマンの小部屋) 「特別展岡山県のレッドデータ生物について」.

22 学校用標本の貸出

化石標本セット 1件

小学校用昆虫標本 1件

23 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 831名 (430組) (※令和3年3月31日現在)
個人260名, 家族564名 (163組), 賛助7組

(2) 役員 (*は幹事兼務)

[会長] 吉岡勉.

[副会長] 榊原久美子, 溝手啓子, 山崎法子, 片岡博行, 天本隆士, 古谷太一, 中田太海, 安原信一郎, 小野行弘, 狩山俊悟, 高嶋幸慶.

[評議員] 青野孝昭, 安達由莉*, 天本隆士, 泉川拓子*, 磯野裕昭*, 磯野倫応*, 伊藤邦夫, 稲神邦代*, 入江和喜*, 植松志帆*, 植松蒼*, 江田伸司*, 榎本敬*, 大島宏美*, 岡本泰典*, 奥島雄一*, 小澤佑二, 小野行弘, 片岡法子*, 片岡博行, 片山久*, 狩山俊悟, 木下延子*, 木村浩子*, 國忠高広*, 古谷太一, 小橋理絵子*, 榊原久美子, 坂本明弘*, 坂本憲治*, 柴田加奈*, 島岡浩恵*, 白神加奈子*, 末長晴輝*, 裾分由美子*, 高嶋幸慶, 武田寛生*, 武田雅生*, 武智泰史*, 中田太海, 中塚栄一*, 中村雅江*, 野島淑子*, 橋本恵子*, 橋本響*, 橋本真由子*, 原田愛*, 廣瀬正明, 藤野睦子*, 松村真佐子*, 溝手啓子, 森下裕子*, 安原信一郎, 山崎法子, 雪江祥貴*, 吉岡勉.

[会計監査] 東伸彦, 守安敦.

(3) 自然観察会 (*は博物館と共催, カッコ内は中学生以下) 友の会追加のみ計138 (35) 名.

4月11日 第604回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2020年春」*倉敷市寿町, 中止

4月19日 第605回自然観察会「おかやま自然探訪65」*和気郡和気町矢田, 中止

4月25日 第606回自然観察会「岡山県北部のタンポポ調査2020」*真庭市蒜山高原, 中止

4月26日 第607回自然観察会「鷺羽山の春の自然」倉敷市下津井, 中止

5月24日 第609回自然観察会「スゲ観察会」新見市菅生, 中止

5月31日 第610回自然観察会「中国山地の植物観察4〜中蒜山〜」*真庭市蒜山町, 中止

6月20日 第611回自然観察会「通生干潟の生き物しらべ」倉敷市児島通生, 中止

6月27日 第612回自然観察会「ブッポウソウ観察会in鳥取」*鳥取県南部町, 中止

6月28日 第613回自然観察会「第25回シダの世界」新見市神郷釜村, 中止

7月11日 第614回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会 in 岡山」*加賀郡吉備中央町, 中止

7月12日 第615回自然観察会「夏だ! 昆虫採集」*倉敷市真備町, 103(45)名

7月26日 第616回自然観察会「高梁川流域自然たんけん1」*浅口市鴨方町, 中止

8月1・2日 第617回自然観察会「宿泊観察会 夏休みいきものふれあい合宿!」真庭市, 中止

8月2日 特別企画「蒜山高原で夏のいきものをさがそう!」真庭市蒜山湯船, 26(15)名

8月8日 第618回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2020年夏」*倉敷市寿町, 中止

9月6日 第619回自然観察会「おかやま自然探訪66」*美作市久賀, 32(10)名

9月13日 第620回自然観察会「ミズアオイ観察会」*倉敷市加須山, 50(17)名

9月20日 第621回自然観察会「秋の吾妻山と比和自然科学博物館(バス観察会)」広島県庄原市, 中止

10月10日 第622回自然観察会「津黒のきのご観察会」真庭市蒜山下和, 28(4)名

10月10日 第608回自然観察会「楽しい魚採り」*倉敷市酒津, 44(15)名

11月14日 第623回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2020年秋」*倉敷市寿町, 中止

12月20日 第624回自然観察会「地学観察会」*倉敷市三田〜二子, 19(2)名

1月17日 第625回自然観察会「松島の自然」倉敷市下津井, 33(3)名

1月31日 第626回自然観察会「ミズアオイの種まき会」*倉敷市加須山, 40(11)名

2月7日 第627回自然観察会「コケ観察会」岡山市, 25(7)名

2月13日 第628回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2021年冬」*倉敷市寿町, 63(2)名

3月7日 第629回自然観察会「倉敷市の鳥カワセミをさがそう!」倉敷市酒津, 26(6)名

(4) 特別展 (博物館と共催)

1月16日〜4月4日 第29回特別展「岡山県のレッドデータ生物2020」

(5) 特別陳列 (博物館と共催)

11月14日〜1月6日「第28回しぜんしくらしき賞作品展」



特別陳列【第28回「しぜんしくらしき賞」作品展】

- (6) 博物館講座（博物館と共催）
 4月5日 「岡山県のタンポポ調査」中止
 6月27・28日 「昆虫の標本の作り方」39名
 7月12日 「植物の採集方法と標本の作り方」18名
 1月10日 「学芸員研究紹介ー地学ー：火成岩の種類とそのでき方」18名
 1月17日 地学教室「めのうの研磨」20名
 2月14日「学芸員研究紹介ー植物ー：タンポポ調査・西日本2020中間報告&岡山県のキク科アゼトウナ属」21名
 3月13日「学芸員研究紹介ー動物ー：ブッポウソウについて」中止
 3月20日「むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究発表会」63名
- (7) 自然の標本なんでも相談会（博物館と共催）
 8月16日 26名.
- (8) むしむし探検隊（博物館と共催）
 参加者延べ123名.
- (9) 植物教室「真備図書館周辺の植物」（博物館と共催）
 3月14日 17名.
- (10) 自然素材を使った手作り教室
 毎月第2日曜日開催 4月～10月中止（ただし11月～2021年2月は秋冬スペシャルとして開催）延べ152名
- (11) 自然と標本のGWスペシャル（博物館と共催）
 中止
- (12) グループ活動
 溜川ウォッチンググループ：毎週金曜日（共催：第3金曜日のみ倉敷市環境学習センター）7月～3月 延べ348名
 シダグループ：毎月1回 延べ82名
 ご近所バードウォッチンググループ：毎月1回 8月～3月 延べ131名
- 倉敷みらい公園バードウォッチング：毎月1回（共催：倉敷市環境学習センター）8月～3月 延べ78名
 岡山県植物誌研究会：随時 登録者19名
 タンポポ調査グループ：随時 参加者292名（2019年と2020年の合計）
 脊椎動物グループ：随時 延べ89名
 昆虫グループ（展示+標本整理）：随時 延べ110名
- (13) 第28回「しぜんしくらしき賞」（博物館と共催）
 募集期間：9月1日～9月27日
 審査会：10月22日
 表彰式：11月22日
 作品展会期：11月14日～1月6日
 応募総数：31点
- (14) 令和3年度会員証デザインコンテスト
 募集期間：10月10日～12月6日
 応募総数：39点（応募人数：9名）
 審査日：12月12日
 採用：「オオセイボウ」（岡本勇）
- (15) 自然史博物館 秋冬スペシャル（博物館と共催）
 実施期間：11月～2月。「岡山大学ギターマンドリンクラブ演奏会」、「ミュージアムパズルを作ろう」、「博物館のお宝探検（昆虫・植物）」、「缶バッジ作り」、「自然素材を使った手作り教室」などを実施。
- (16) 会報「しぜんしくらしき」発行
 6月1日 113号, 9月1日 114号, 12月1日 115号, 3月1日 116号.
- (17) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行
 4月11日 340号, 5月9日 341号, 6月13日 342号, 7月11日 343号, 8月8日 344号, 9月12日 345号, 10月10日 346号, 11月14日 347号, 12月12日 348号, 1月9日 349号, 2月13日 350号, 3月13日 351号.
- (18) 総会の開催
 4月26日, 中止.（書面による資料の承認に変更）
- (19) 幹事会の開催
 4月11日, 5月9日, 6月13日（以上, メール会議）, 7月11日, 8月8日, 9月12日, 10月10日, 11月14日, 12月12日, 1月9日, 2月13日, 3月13日.
- (20) あっせん
 図書, 自然観察用品, 昆虫器具等.
- (21) その他

ホームページ, メーリングリスト, Facebookの管理・運営.

V. 庶務

1 沿革	第1収蔵庫 (動物, 植物)	169.83
昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会 (13名) 設置	第2収蔵庫 (地学)	62.25
昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より, 倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで, 積極的に取り組む必要がある」との答申が出される	液浸標本収蔵庫	18.69
昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会 (13名) 設置	図書文献室	47.30
昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが, 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定	大高仮収蔵庫 (敷地面積708.10)	190.80
昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者 (4名) に委託	仮収蔵スペース (市内小学校教室2部屋, 市内中学校教室2部屋)	
昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定	(4) 教育普及 (157.98)	
昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定	学習コーナー	47.71
昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館	ミニ水族館	14.37
平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足	講義室	95.90
平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成	(5) 庶務 (182.11)	
平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館	連絡室	35.88
平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成	事務室	57.59
平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成	会議室	55.45
平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成	倉庫	33.19
平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成	(6) 機械設備 (281.59)	
平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し, 倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始	機械室 (地階)	180.86
	機械室 (収蔵庫用空調設備)	19.86
	機械室 (屋階)	53.66
	ボイラー室	20.25
	エレベーター機械室	6.96
	(7) その他 (998.81)	
	車庫	206.92
	便所, 廊下等	791.89
2 各室現有面積 (単位: m²) 現有面積合計 3,263.08	3 組織	
(1) 展示室 (969.48)	(1) 職員 (令和2年4月1日現在)	
エントランスホール	館長 高嶋幸慶 (総括)	
常設展示室 (第1展示室)	主幹・学芸員 江田伸司 (動物)	
常設展示室 (第2展示室)	主幹・学芸員 奥島雄一 (昆虫)	
常設展示室 (第3展示室)	主任・学芸員 武智泰史 (地学)	
常設展示室 (第4展示室)	学芸員 狩山俊悟 (植物)	
特別展示室	主任 石井陽子 (庶務, 経理, 教育普及)	
(2) 調査研究 (184.24)	会計年度任用 神田佐奈恵 (昆虫学芸補助)	
研究室	会計年度任用 小田敦子 (受付, 教育普及, 庶務)	
工作室	会計年度任用 泉川祐子 (受付, 教育普及, 広報)	
写真室	会計年度任用 赤星 浩 (受付, 文献登録)	
暗室	会計年度任用 守屋千晴 (受付, 土日祝)	
(3) 収蔵庫 (488.87)	会計年度任用 武内飛鳥 (受付, 土日祝)	
	会計年度任用 三島あゆみ (受付, 土日祝)	

会計年度任用 平岡 和 (植物学芸補助, 土日)

会計年度任用 松本光平 (昆虫学芸補助, 土日)

(2) 職員の異動

6月1日着任 会計年度任用 辻 弘美

3月31日退任 主幹 江田伸司

3月31日退任 主任 石井陽子

3月31日退任 学芸員 狩山俊悟

3月31日退任 会計年度任用 松本光平

3月31日退任 会計年度任用 武内飛鳥

(3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員 (令和3年3月31日現在)

[任期: 令和元年12月1日～令和3年11月30日]

碓 京子 高梁市成羽美術館学芸員

荻野正樹 倉敷市立新田中学校長

片岡博行 医療法人創和会 重井薬用植物園長

小林祥一 岡山理科大学特任教授

中西善之 倉敷市議会市民文教委員会委員

堀江明香 元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師

三宅誠治 日本鱗翅学会会員

宮原勝志 倉敷市立旭丘小学校長

山崎法子 倉敷市立自然史博物館友の会副会長

吉岡 勉 倉敷市立自然史博物館友の会会長

(敬称略, 五十音順)

(4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催 8月6日.

4 委員, 役員委嘱

(1) 高嶋幸慶: 館長

平成31年4月28日～令和4年4月総会 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成31年4月28日～令和4年4月総会 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和元年6月1日～令和3年5月31日 「倉敷市環境審議会委員」 倉敷市.

令和元年5月21日～令和3年5月27日 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県.

(2) 武智泰史: 地学担当

令和2年4月27日～令和4年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和2年4月27日～令和4年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成30年2月5日～令和4年2月 「標本救済ネットワークケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

(3) 狩山俊悟: 植物担当

平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成30年4月22日～令和2年4月26日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成31年4月1日～令和3年3月31日 「備前市歴史文化基本構想策定委員」 備前市教育委員会.

平成31年4月1日～令和3年3月31日 「備前市文化財保護審議会委員」 備前市教育委員会.

令和元年7月16日～令和3年7月15日 「岡山県指定希少野生動物保護巡視員(ミズアオイ)」 岡山県環境文化部自然環境課.

令和元年10月9日～令和5年3月31日 「瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内部分会委員」 中国四国地方環境事務所.

平成30年2月10日～令和4年2月 「西日本自然史系博物館ネットワーク理事」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

平成30年2月5日～令和4年2月 「標本救済ネットワークケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会運営委員」 岡山県環境文化部自然環境課.

令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会植物部会副副会長」 岡山県野生動物調査検討会植物部会.

令和3年3月1日～令和3年3月4日 「非常勤講師(森林資源学)」 福山市立大学.

(4) 奥島雄一: 昆虫担当

平成30年4月22日～令和2年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成30年4月22日～令和2年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

平成31年1月1日～令和2年12月31日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会.

平成31年1月1日～令和2年12月31日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会.

平成31年4月13日～令和3年4月頃 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会.

令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会委員(昆虫部会副副会長)」 岡山県野生動物調査検討会.

令和2年4月1日～令和5年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課.

平成30年8月1日～令和2年7月31日、令和2年8月1日～令和4年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課。

令和2年2月10日～令和4年2月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク

令和2年6月10日～令和3年3月31日 「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所。

平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和2年4月1日～令和7年3月31日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人 岡山県環境保全事業団。

令和2年1月1日～令和3年12月31日 「倉敷市生物多様性審議会委員」 倉敷市。

令和2年4月27日～令和3年3月31日 「河川水辺の国勢調査アドバイザー」 国土交通省中国地方整備局。

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会。

継続 「日本昆虫目録コメツキグループ調整担当」 日本昆虫目録編集委員会。

(5) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部。

令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会運営委員」 岡山県野生動物調査検討会。

令和2年4月1日～令和4年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会委員（動物部会長）」 岡山県野生動物調査検討会。

令和2年4月26日～令和4年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和2年4月26日～令和4年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和2年6月～令和4年6月 「佐藤清明資料保存会顧問」 佐藤清明資料保存会。

5 会議等派遣

(1) 高嶋幸慶：館長（5回）

7月8日 「岡山県博物館協議会役員会」 岡山県博物館協議会。

8月7日 「第1回倉敷市環境審議会」 倉敷市。

10月20日 「第2回倉敷市環境審議会」 倉敷市。

12月25日 「第3回倉敷市環境審議会」 倉敷市。

2月10日 「第4回倉敷市環境審議会」 倉敷市。

(2) 狩山俊悟：植物担当（9回）

7月22日 「令和2年度第1回備前市文化財保護審議会」 備前市教育委員会。

9月24日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2020年度第1回理事会（オンライン）」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

12月9日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2020年度第2回理事会（オンライン）」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

1月20日 「瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内内部有識者第1回ヒアリング（オンライン）」 中国四国地方環境事務所。

1月21日 「令和2年度岡山県野生動物調査検討会植物部会（オンライン）」 岡山県野生動物調査検討会植物部会。

2月1日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2021年総会（オンライン）」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

2月26日 「瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内内部有識者第2回ヒアリング（オンライン）」 中国四国地方環境事務所。

3月12日 「令和2年度第2回備前市文化財保護審議会」 備前市教育委員会。

3月16日 「第1回備前市歴史文化総合活用推進協議会」 備前市教育委員会。

(3) 奥島雄一：昆虫担当（8回）

7月2日 「令和2年度第1回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団。

7月30日 「令和2年度第1回倉敷市生物多様性審議会」 倉敷市生物多様性審議会（倉敷市環境政策課）。

9月25日 「第4回小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会」 国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策下線事務所。

11月11日 「岡山県自然環境保全審議会（全体会議）」 岡山県自然環境保全審議会（岡山県環境文化部自然環境課）。

11月17日 「令和2年度第2回倉敷市生物多様性審議会」 倉敷市生物多様性審議会（倉敷市環境政策課）。

1月8日 「令和2年度第3回倉敷市生物多様性審議会」 倉敷市生物多様性審議会（倉敷市環境政策課）。

1月16日 「令和2年度岡山県野生動物調査検討会昆虫部会」 岡山県野生動物調査検討会。

2月3日 「令和2年度第2回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団。

(4) 江田伸司：動物担当（1回）

12月8日 「岡山県野生動物調査検討会令和2年度動物部会」 岡山県野生動物調査検討会動物部会。

6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「毎月のお知らせ」「パワフルキッズ」「友の会ニュース」「FMくらしき」等でPRを行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。なお、本年度は新型コロナウイルス感染症への対応として、「おうちミュージアム」に参加して全国のミュージアムとともにオンラインの発信を行ったほか、SNS等を活用した広報活動に重点的に取り組んだ。

ホームページビュー数：53,765回（令和3年3月31日現在）。

メールマガジン登録数（LINE配信含む）：960件（令和3年3月31日現在）。

メールマガジン配信数：14回。

Twitterフォロワー数：557件（令和3年3月31日現在）。
Twitter投稿数：378回。

Instagramフォロワー数：424件（令和3年3月31日現在）。
Instagram投稿数：38回。

7 職員の研修参加

(1) 狩山俊悟：植物担当

12月16日 「2020年度日本植物分類学会講演会」（オンライン）、日本植物分類学会。

3月8～10日 「日本植物分類学会第20回大会」（オンライン）、日本植物分類学会。

(2) 奥島雄一：昆虫担当

9月22日 北大総合博物館昆虫サロン40「自然史資料をどう残す？」 北海道大学総合博物館昆虫ボランティア。（オンライン開催）。

12月12日 「日本昆虫分類学会第23回大会・甲虫学会オンライン発表会・オンライン基礎昆虫学会議」（オンライン開催）。

2月6日 「第36回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会」（オンライン開催） 国立科学博物館・NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク。

8 視察来館

なし

9 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ264名

高梁川流域パスポート利用者数 延べ159名

(2) 一般対象

5月5日 こどもの日 (休館中)

11月3日 秋冬スペシャル 231名

3月14日 ないと・みゅーじあむ 中止

10 予算・決算（単位：円）

【歳入】

科目名称	予算現額	決算額
観覧料	1,208,000	867,900
内、特別展	532,000	221,900
内、常設展	676,000	646,000
県補助金（コロナ対策事業）	0	116,000
労働保険料精算雑入	0	1,832
観光休憩所水道料雑入	137,000	147,130
書籍売払雑入	443,000	350,581
講師等派遣雑入	30,000	248,040
合計	1,818,000	1,731,483

【歳出】

科目名称	予算現額	決算額
報酬	7,046,000	6,687,170
内、協議会委員	71,000	49,700
内、会計年度任用職員	6,975,000	6,637,470
給料	24,927,600	24,927,600
職員手当等	13,881,141	13,807,910
内、会計年度任用職員	1,447,000	1,373,769
内、正規職員	12,434,141	12,434,141
共済費	9,291,566	9,259,487
内、会計年度任用職員	1,332,000	1,299,921
内、正規職員	7,959,566	7,959,566
報償費	634,000	588,326
旅費	81,000	4,740
需用費	12,691,062	10,973,269
内、消耗品費	1,752,663	1,696,540
内、食糧費	15,000	14,328
内、印刷製本費	3,008,000	2,262,130
内、光熱水費	6,465,399	5,811,716
内、修繕料	1,442,000	1,180,900
内、飼料費	4,000	3,992
内、医薬材料費	4,000	3,663
役務費	496,000	479,568
内、通信運搬費	233,900	222,718
内、手数料	262,100	256,850
委託料	2,404,426	2,204,026
使用料及び賃借料	162,000	57,156
備品購入費	347,512	323,092
負担金補助及び交付金	54,000	54,000
合計	72,016,307	69,366,344

※その他の施設管理費（委託料；中央図書館支払分）

16,180（千円）

11 表彰等

奥島雄一 「令和2年度日本博物館協会顕彰」 日本博物館協会（11月25日）。

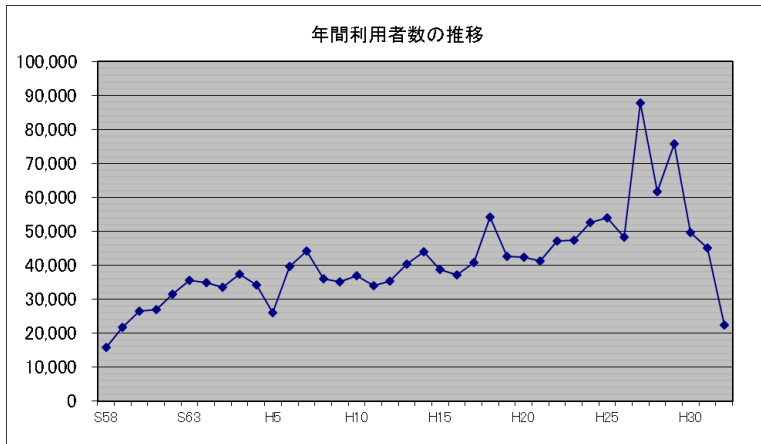
12 年間利用者数

(1) 令和2年度利用者数 (単位：人)

月	開館日数	有 料				有料入館者合計	無 料														無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引			個人					団体					特別観覧	乳幼児							
		一般	大学生	一般	大学生		高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園児	小学生	中学生	支援学校生	高校生			その他						
4	17	69	6	0	0	75	19	2	25	1	2	0	0	0	0	0	0	7	32	88	360	523	0	523	
5	10	114	0	0	0	114	8	1	30	9	2	0	0	0	0	0	0	6	53	109	207	430	0	430	
6	24	292	28	1	55	376	22	7	74	6	2	0	0	0	0	0	0	14	168	293	457	1,126	0	1,126	
7	27	647	12	1	31	691	91	27	208	14	29	0	0	0	0	0	0	35	317	721	579	1,991	123	2,114	
8	26	1,033	43	1	31	1,108	83	26	413	46	341	0	0	40	0	11	12	69	585	1,626	580	3,314	26	3,340	
9	25	746	54	2	0	802	95	27	273	36	2	0	0	104	0	0	0	40	355	932	410	2,144	151	2,295	
10	27	472	36	3	62	573	192	80	141	16	19	0	597	13	40	0	20	44	197	1,359	515	2,447	72	2,519	
11	25	349	21	1	51	422	59	19	197	8	17	19	203	21	53	0	0	87	223	906	653	1,981	205	2,186	
12	24	252	27	0	0	279	73	8	81	21	28	31	14	0	0	0	0	57	142	455	449	1,183	219	1,402	
1	24	419	61	0	0	480	48	27	186	11	31	58	0	0	0	38	0	69	201	669	564	1,713	107	1,820	
2	24	554	37	2	0	593	89	18	587	19	10	145	241	0	0	0	23	50	264	1,446	475	2,514	88	2,602	
3	26	576	57	6	0	639	112	23	228	13	38	80	0	0	0	0	0	56	265	815	603	2,057	89	2,146	
合計	279	5,523	382	17	230	6,152	891	265	2,443	200	521	333	1,055	178	93	49	55	534	2,802	9,419	5,852	21,423	1,080	22,503	

観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
 ・館内利用者(※1)：講義室での各種講座、学習コーナーでの手作り教室等参加者
 ・来館者合計(A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者(※1)
 ・館外利用者(B)：自然観察会等参加者、出張展示観覧者数
 ・臨時休館日：令和2年4月21日～5月20日

(2) 年間利用者数の推移 (単位：人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳 (単位：人)

月	個人									団体															
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園			小学校			中学校			支援学校			高校		その他	
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	
4	21	4	25	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	21	9	30	2	7	9	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	35	39	74	4	2	6	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7	123	85	208	7	7	14	26	3	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8	273	140	413	21	25	46	314	27	341	0	0	0	0	0	0	40	40	0	0	0	11	0	11	0	
9	149	124	273	10	26	36	0	2	2	0	0	0	0	0	0	104	104	0	0	0	0	0	0	0	
10	90	51	141	5	11	16	12	7	19	0	0	0	366	231	597	0	13	13	27	13	40	0	0	20	
11	106	43	149	3	3	6	7	17	24	0	19	20	183	203	21	0	21	43	10	53	0	0	0	0	
12	61	20	81	10	11	21	11	17	28	31	0	31	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	138	48	186	3	8	11	2	29	31	58	0	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	38	0	
2	521	66	587	10	9	19	6	4	10	145	0	145	241	0	241	0	0	0	0	0	0	0	0	23	
3	147	81	228	5	8	13	11	27	38	58	22	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	1,685	710	2,443	80	118	200	390	127	521	311	22	333	641	414	1,055	21	157	178	70	23	93	11	38	49	

・その他：児童クラブ、子ども会等

【倉敷市立自然史博物館中期計画の点検(2019～2023年度)】

表の見方: ①目標値は設定することが好ましいもののみ ②すでに目標値に達していると思われる項目は維持を目標とする ③網掛けは累計数値

大項目:使命	中項目	番	評価指標	参考値	現状値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	凡例(累計以外は年度集計)	番
				2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
集めて未来につなげる 博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。	資料の収集に努めているか 資料を利用できるか 資料が利用されているか	1	一次資料収蔵点数	856,261	938,163	973,030	980,658				—	凡例(累計以外は年度集計)	1
		2	一次資料採集点数	523	367	496	125				—	受入れ点数の累計	2
		3	一次資料寄贈点数	29,837	81,535	58,396	7,506				—	業務内採集点数	3
		4	一次資料登録点数	471,607	485,955	498,886	510,655				560,000	登録済資料点数累計	4
		5	一次資料データベース入力点数	444,134	457,448	468,863	480,507				535,000	上記のうちデータが電子化されている点数	5
		6	二次資料登録点数(図書)	11,902	12,506	12,875	13,152				—	登録・入力済点数累計	6
		7	二次資料登録点数(雑誌)	34,818	35,946	38,852	41,292				—	登録・入力済点数累計	7
		8	一次資料利用件数	111	213	176	116				250	来館利用回数+貸出手続き回数, ボランティア除く	8
		9	二次資料利用件数	12	12	49	10				30	来館利用回数+貸出手続き回数	9
		10	一次資料利用著作件数	27	29	37	29				40	収蔵資料を引用した著作件数, 出版後寄贈含む	10
		11	博物館のお宝探検開催回数	25	46	27	26				50	単独開催+イベント	11
		12	博物館のお宝探検参加者数	—	—	481	56				—	単独開催+イベント	12
教養文化の向上をめざす 博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。	展示・普及活動を通じて活動成果を公開しているか 教育普及活動により学習機会が提供できているか	13	野外調査回数	70	43	72	34				—	業務内調査日数	13
		14	館員著作件数	145	122	131	125				150	館内刊行物(バオ, 研報)+館外刊行物	14
		15	特別展総観覧者数	20,004	10,015	12,622	6,126				—	会期中観覧者数	15
		16	特別展日平均観覧者数	322.6	178.8	148.5	77.5				250	総観覧者/会期日数	16
		17	特別展満足度	91	—	92	—				85	%、大変満足+満足/5段階評価	17
		18	特別陳列開催件数	4	6	10	8				—	一年度内開催件数, 年度をまたぐものは前年へ	18
		19	常設展・一時展示更新回数	11	10	15	14				10	年度をまたぐものは前年へ	19
		20	館員講演件数	10	8	8	6				15	館行事(研究紹介, スライド)+館外	20
		21	観察会参加者数	675	680	789	351				800	—	21
		22	博物館講座参加者数	184	214	184	173				250	—	22
		23	各種教室等参加者数	474	478	309	201				500	標本相談会, 動物研究会, むしむし探検隊, 地学教室, スライド映写会	23
		24	出前講座等参加者数	949	1,125	1,572	1,059				1,300	出前講座+講師依頼	24
		25	自然史博物館まつり参加者数	8,395	8,825	5,701	—				9,000	—	25
		26	自然史博物館まつり満足度	95.1	98.7	95.2	—				95	%、大変満足(非常に良い)+満足(良い)/5段階評価	26
		27	自然にふれる活動に参加している子どもの数	594	378	577	173				700	屋外行事の中学生以下の参加者数:倉敷市教育振興基本計画指標	27
人づくりを担う 博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながる持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。	ボランティアが活動できているか 次世代の育成ができているか 実習生等の受入れができているか 利用者への支援・情報提供ができているか	28	展示メンテナンスべ人数	56	32	47	46				40	ミニ水族館	28
		29	展示ガイド回数	37	29	28	1				40	昆虫ガイド	29
		30	資料作成・整理延べ人数	709	1,327	742	413				800	脊椎グループ, 動物, 昆虫, 植物	30
		31	自然史博物館利用者から自然史系大学・職業等に進んだ人数	21	21	24	24				25	高校生時までに当館に通い, 卒業後自然史系の大学・職業等に進んだ累積人数	31
		32	職場体験受入れ人数	31	15	21	0				30	中学生	32
		33	博物館実習・インターン受入れ人数	4	2	4	4				5	大学生	33
		34	共著著作件数	20	18	20	17				30	館員と館外者の共著作件数	34
		35	編集委員(校閲者)を務めた出版物	21	21	31	22				—	冊数(館友の会+館外), 原稿別は下記に含む	35
		36	レファレンス件数	964	990	976	1,033				1,000	上記以外の査読・校閲・研究協力含む	36
連携して共に成長する 博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。	収蔵資料の連携した活用ができているか 友の会と協力の事業ができているか 他団体と専門性を活かした協力ができているか	37	倉敷まちかど博物館申請件数	13	11	17	14				15	—	37
		38	倉敷まちかど博物館貸出回数	41	40	34	32				50	継続含まず, 更新・仮展示含む	38
		39	学校用標本貸出件数	2	1	2	2				3	地学+昆虫	39
		40	他館等協力展示件数	2	0	5	5				1	共催・協力	40
		41	共催行事件数	46	41	42	20				45	観察会・博物館講座・各種講座・手作り教室・イベント	41
		42	講師派遣行事数	9	6	7	1				10	共催除く	42
		43	出前講座等講師派遣件数	29	25	36	25				30	出前講座+その他講師派遣	43
		44	会議派遣件数	29	32	30	23				—	—	44
		45	正規職員数	6	6	6	6				—	—	45
より魅力的な博物館をめざす 博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。	職員数の状況 面積等の状況 決算額の状況 広く利用され、満足されているか 広報活動が十分に行き届いているか 施設・事業が改善されているか 職員の資質向上に努めているか	46	嘱託職員数	5	5	5	5				—	博物館採用+人事課採用分, 会計年度任用職員数(2020.4～)	46
		47	占有延べ床面積(m ²)	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08				—	本館+大高仮収蔵庫	47
		48	一時使用床面積(m ²)	189	189	189	189				—	小学校2教室+中学校1.5教室	48
		49	内収蔵面積(m ²)	677.87	677.87	677.87	677.87				—	本館+大高+一時使用	49
		50	歳出総額	90,351,482	84,908,844	85,157,892	85,546,757				—	決算額, 職員給与, 3館按分経費含む	50
		51	館歳入	2,191,178	1,639,674	1,378,154	1,731,483				—	決算額, 使用料(観覧料等)+雑入, 一般財源含まず*	51
		52	全体利用者数	75,740	49,658	45,123	22,503				60,000	来館者+館外利用者	52
		53	来館者数	54,720	48,445	43,413	21,423				55,000	観覧者+館内利用者	53
		54	外国人観覧者数	30	164	183	29				—	受付で確認できた人のみ	54
		55	子ども観覧者数	18,213	18,491	15,453	7,104				20,000	小中学生(個人+団体)+幼稚園・保育園・認定こども園+支援学校(児童・生徒)+乳幼児	55
		56	学校園等団体利用件数	159	185	179	58				200	—	56
		57	来館者総合満足度	84	86	86	90				85	%、大変満足+満足/5段階評価	57
		58	友の会会員数	824	880	876	831				1,000	—	58
		59	マスコミ報道件数	87	76	41	73				90	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等(イベント案内・寄稿除く)	59
		60	ホームページアクセス数	—	—	26,156	53,765				50,000	Google analyticsによるページビュー数(2019年度は利用開始日(8月19日)からの計測)	60
61	メールマガジン登録者数	986	1,074	756	960				1,500	年度末時点数	61		
62	メールマガジン配信数	35	18	13	14				—	年度内配信数(発行回数)	62		
63	Twitter投稿数	112	158	219	378				200	年度内投稿数(ツイート回数)	63		
64	Twitterフォロワー数	—	110	369	557				600	—	64		
65	Instagram投稿数	—	38	41	38				100	年度内投稿数	65		
66	Instagramフォロワー数	—	137	269	424				300	—	66		
67	施設の改善件数	—	—	8	10				10	修繕・修理実施件数(経費不要分含む)	67		
68	運営面の改善件数	—	—	7	4				10	施設以外の改善件数	68		
69	研修参加回数	32	17	30	16				30	人材育成計画実績(義務的基本研修は除く, 学会参加含む)	69		
70	職員の対応に対する満足度	82*	82*	88	88				85	%、大変満足+満足/5段階評価(*年間一部)	70		

倉敷市立自然史博物館の運営方針

平成30年12月7日

1 理念（コンセプト）

倉敷市立自然史博物館は、郷土倉敷とそれにつながる地域の自然と人との関わりについて、市民の関心や理解を深め、学習を支援することにより、市民の教養と地域文化の向上に寄与します。

2 使命（ミッション）—理念実現に向けて—

倉敷市立自然史博物館（以下「博物館」という。）は、理念の実現に向けて、次に掲げる使命を持って、資料の収集・保管、調査研究、展示及び教育普及活動を推進します。

○集めて未来につなげる

博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。

○教養文化の向上をめざす

博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。

○人づくりを担う

博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながる持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。

○連携して共に成長する

博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。

○より魅力的な博物館をめざす

博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

平成30年12月7日

倉敷市立自然史博物館は、その使命（ミッション）に基づき、資料を収集・保管するものとし、収集対象資料は次のとおりとする。

収集対象は、自然史関連の実物標本、レプリカ、文献、画像、映像等とし、次のいずれかに該当するものとする。

1 地勢的・気候的又は生物地理学的に倉敷市及びそれに関連する地域に関する資料

〔説明〕

地質・地形及び生物相に関するもので、過去から現在、未来へと変遷の検証が可能なものの収集に努める。また、収集地域には学術の見地から、当市と地勢的・気候的に関連した近隣地域（高梁川流域・山陽・瀬戸内など）又は生物地理学的に関連のある地域を含めるものとする。

2 展示を中心とした教育普及又は研究に活用できる資料

〔説明〕

地球の歴史と生命の進化及び生物多様性といった学校教育や社会で重視されている分野の研究・教育普及に活用できる資料の収集に努める。

○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年9月22日
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- (2) 博物館資料を利用させること。
- (3) 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (4) 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- (6) その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。

- 2 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。
- 3 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。

- 2 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。

- 2 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。
- 3 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 4 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。
- 5 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。
- 6 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。

- (1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- (2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 酩酊して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- (3) 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- (4) 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認める者
- (5) 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認める者
- (6) その他管理上支障があると認める者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料を損傷又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任することができる。

(協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)
1 この条例の施行期日は、規則で定める。
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

展示美術館協議会委員	同	5,000円	同
------------	---	--------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同	5,000円	同
-------------	---	--------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)

(施行期日)
1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)

(施行期日)
1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)

(施行期日)
1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

6 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月22日条例第3号抄)

(施行期日)
1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)
6 この条例(第2条及び第32条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

常設展観覧料		
区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第5条関係)

特別展観覧料		
区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき550円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生		
高校生以下		

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3(第7条関係)

使用場所/使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から午後12時まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで	
講義室	440円	660円	1,100円	1時間につき770円

備考
1 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。
2 金額には消費税及び地方消費税を含む。

○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当るときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)

(2) 12月28日から翌年の1月4日まで、
2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したものに對して観覧券を交付するものとする。

2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。

3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。

(1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。
(2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。
(3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。)は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。)は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。

3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。

(1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。
(2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。
(3) 使用を受けた施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。
(4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。
(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント

(2) 条例第8条第2号に該当する場合、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント

(3) 条例第8条第3号に該当する場合、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント

(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除

(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき心身障害者の場合はその介護人1名を含めて観覧料の全額を免除

(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除

2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長、副会長を置く。

2 会長、副会長は委員の互選により定める。
3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
5 会議は会長が招集する。

6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。

7 協議会に専門部会を置くことができる。
8 協議会の庶務は、博物館において行なう。
9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)

この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(一部抜粋)

昭和42年2月1日
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]

9時～17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、
年末年始(12月28日～1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

一般：150円(100円)
大学生：50円(30円)
高校生以下：無料
・かつこ内は20名以上の団体の場合。
・65歳以上の方、学齢未満の幼児、心身障がい者とその介護者1名は無料。

[交通案内]

・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。
・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館報 第30号 (令和2年度)

令和3年7月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話 (086)425-6037

FAX (086)425-6038

E-mail: musnat@city.kurashiki.okayama.jp

<https://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/index.htm>